

PROTECH®

HDビューファインダー **HDF-EL800**

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう
大切に保管してください。

この製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害(情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

取扱説明書の記載内容を守らないこと、あるいは取扱説明書の記載内容の誤記、等により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に、この『安全上の注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上の注意は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容になっていますので、必ずお守りください。

表示と図記号の意味は次のようになっています。

 **警告** “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする等の異常が発生した場合は、電源スイッチを切る！
- 本機を落としたり、強い衝撃を与えたり、破損した場合は、電源スイッチを切る！
- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切る！
- 本機の内部に異物などが入った場合は、電源スイッチを切る！

※そのまま使用すると感電・事故を起こす恐れがあります。

 **注意** “取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定されること”を示します。



禁止

- 本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！

こぼれて、本機内部に入ると、発熱や火災、感電など、故障や事故を起こす恐れがあります。



禁止

- 機器の開口部から異物を差し込んだり、落としこんだりしない！

発熱や火災、感電など、故障や事故を起こす原因となります



水ぬれ禁止

- 機器が水、汗、海水などの液体で濡れたりしないようにする！

発熱や火災、感電など、故障や事故を起こす原因となります

雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。



水場禁止

- 水などの液体が使われたり、かかったりする場所で使用しない！

発熱や火災、感電など、故障や事故を起こす原因となります



分解禁止

- 本機を分解、改造、修理しない！

発熱や火災、感電など、故障や事故を起こす原因となります



注意

- 本機の電源にバッテリーを使用する場合は、必ず指定品をご使用ください！

バッテリーが落下して、故障、破損や事故を起こす原因となります。

目次

HD ビューファインダー HDF-EL800

HDF-EL800 目次

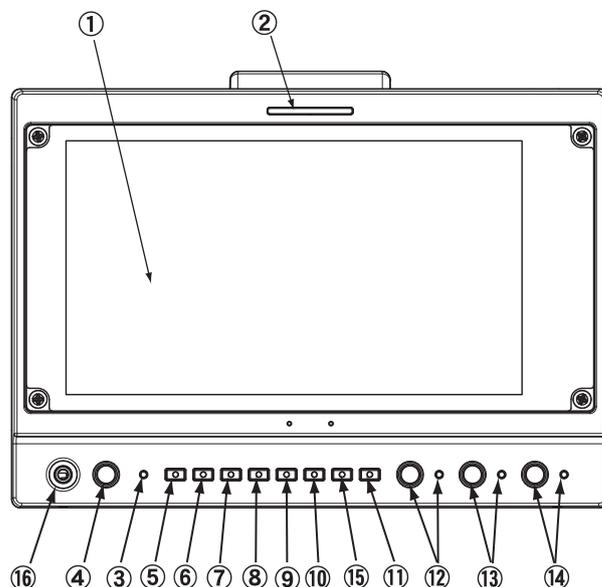
各部名称と働き	4
フロントパネル	4
リアパネル	9
左側面, 右側面, 上面, 下面	12
ロケーションスタンド	13
スタジオキット	14
接続方法	15
調整・設定	25
外形寸法図	46
仕様	47

各部名称と働き

HD ビューファインダー HDF-EL800

HDF-EL800 各部名称と働き

フロントパネル



① OLED画面

スクリーンは 7.4インチAMOLEDで、画面寸法は、約 164 mm×92 mm です。

② フロントタリー表示LED (赤/緑)

フロントタリーは、TALLY コネクタ のタリー信号で 赤(RED)/緑(GREEN) に点灯します。
メニュー/SETUP/TALLY TYPE で入力するタリー信号を選択します。

TALLY TYPE [VOLTAGE] のとき TALLYコネクタ 電圧入力：タリー信号の電圧が 2.3 - 3.7 V のとき <緑> 点灯
信号の電圧が 4.3 - 5.0 V のとき <赤> 点灯
信号の電圧が 0 - 1.7 V のとき消灯

TALLY TYPE [ON/OFF] のとき TALLYコネクタ ON/OFF入力：タリー信号が ON(short)のとき <赤> 点灯
OFF(open)のとき消灯

また、TC TALLY 機能(REC タリー)を搭載しています。TC TALLY は、赤のみ点灯します。

TC TALLY : フロントパネル ファンクションボタン TC TALLYを押して TC TALLY に設定します。

TC TALLY は、TC信号をエンベッドされた HD-SDI 信号が SDI(HD/SD) IN またはRET IN に入力しているとき、
かつ、タイムコードがカウントアップしているとき、レッドタリーが点灯します。

③ POWER 電源表示LED

POWER スイッチが ON のとき点灯します。

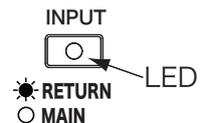
フロントパネル

④ VOLUME / PUSH SELECT モニタースピーカー・ヘッドホン音量調節ボリューム/モニターCH選択スイッチ

ツマミを回して、背面のモニタースピーカーまたはヘッドホンでモニターする音量を調整します。
このツマミ(ボタン)を順次押すと、モニターする信号(モニタースピーカーまたはヘッドホンへ出力される信号)が切り替えられます。CH 1&2→3&4→1→2→3→4→5→6→7→8→ の順に切り替わります。

⑤ INPUT 入力選択スイッチ

INPUT 切替スイッチを押して、入力信号(コネクタ) [画面表示] を順に切り替えます。
SDI(HD/SD) IN [SDI-MAIN] → SDI(HD/SD)RET IN [SDI-RETURN] →
I/F Analog HD Component [CAMERA] → Composite [CVBS] →
HDMI IN [HDMI] の順に切り替わります。



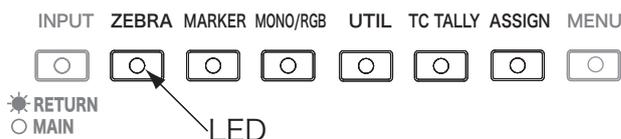
表示(画面左下)	入力コネクタ	入力信号
[SDI-MAIN]	SDI(HD/SD) IN	SDI (HD/SD)
[SDI-RETURN]	SDI(HD/SD) RET IN	SDI(HD/SD)リターン
[CAMERA]	I/F (HD D-sub 15-pin)	アナログ (HD) コンポーネント
[CVBS]	CVBS	アナログコンポジット
[HDMI]	HDMI IN	HDMI

※ 背面のRET INコネクタに接続されたリターンスイッチの操作でリターン信号(RET INコネクタ入力)へ切り替えると INPUT ボタンのLEDが点灯します。

※ INPUT ボタンの長押しで PIC IN PIC の子画面の表示を ON/OFFできます。

※ PIC IN PIC 表示のとき、INPUTボタンで入力を切り替えると、PIC IN PIC 表示モードのまま入力の信号が表示されます。

※ PIC IN PIC 表示のとき、リターンスイッチでリターン信号(RET INコネクタ入力)の表示へ切り替えると、PIC IN PICの子画面には、SDI MAIN入力の信号が表示されます。



⑥ ZEBRA ゼブラ表示ON/OFFスイッチ

ゼブラ表示を ON/OFF 切り替えます。
ゼブラ表示レベルの調整, ZEBRA/FILLの切り替えは、メニューで設定できます。

- OFF(LED off)
- ↓ 16:9
- ↓ 16:9 / +(center marker)
- ↓ 4:3
- ↓ 4:3 / +
- ↓ 16:9 / 4:3
- ↓ 16:9 / 4:3 / +
- ↓ CROSS HATCH(LARGE)
- ↓ USER setting

⑦ MARKER マーカー選択スイッチ

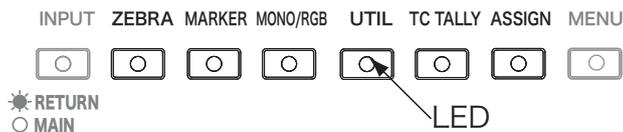
マーカー表示を 順に切り替えます。ユーザー設定ができます。

⑧ MONO/RGB 切替スイッチ

画面表示(COLOR)を切り替えます。
→モノクローム→ブルーオンリー→レッドオンリー→グリーンオンリー→
フルカラー→ の順に切り替わります。

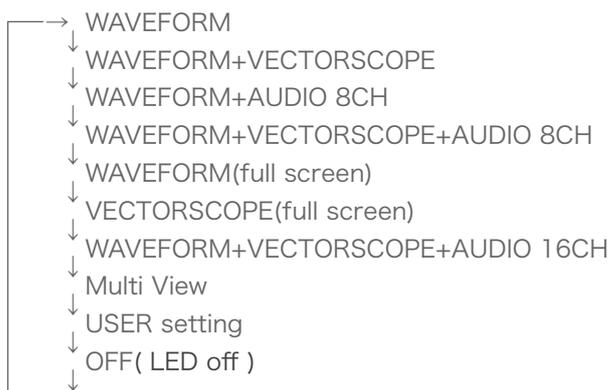
- full color(LED off)
- ↓ Mono
- ↓ Blue only
- ↓ RED only
- ↓ GREEN only

フロントパネル



⑨ UTIL ユーティリティ選択スイッチ

ユーティリティ(測定器機能)を順次切り替えます。ユーザー設定で機能の選択,配置,サイズの選択等ができます。



⑩ TC TALLY TCタリー切替スイッチ

TC TALLY をON/OFFします。

TC TALLY ENABLE → TC TALLY DISPLAY ON → OFF の順に切り替わります。

TC TALLY : TCタリーは、TC信号がエンベデッドされたSDI 映像信号からTC信号を検出してタリーを点灯します。レックランのとき、レコーダーの REC がスタートして "録画中" であることをタリーLEDを点灯して表示する "RECタリー" 機能です。(※TC TALLY は日本ビデオシステムの登録商標です。)

⑪ MENU メニュー表示ボタン / ENTER メニュー項目選択・設定入カつまミ

MENU メニュー表示ボタン/(リターンボタン/メニュー終了ボタン) :

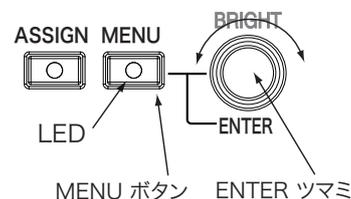
MENU ボタンを押すと、メニューが画面に表示されます。ボタンのLEDが点灯します。

MENU ボタンのLED が点灯しているときボタンを押すとカーソルがもどります。

ENTER 選択・入カつまミ(ボタン) :

ENTER ツマミを回して、メニューの項目、設定項目、設定値を選択します。

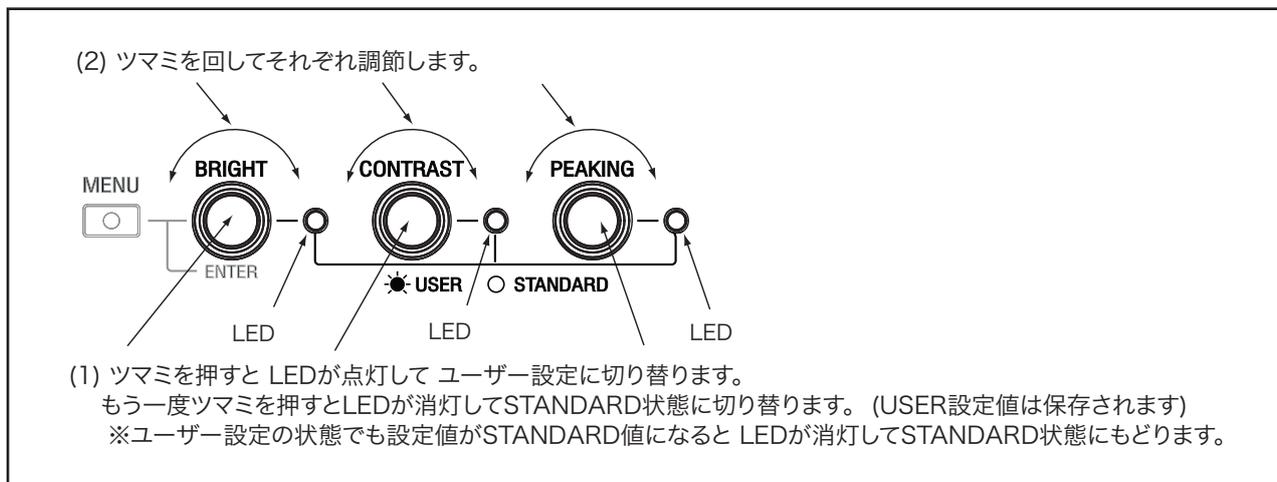
つまミを押すと、その項目、設定値が確定します。



※ メニューの内容・操作は、28-34 ページを参照してください。

注意 : 各機能は、信号が入力されているとき動作、操作ができます。
信号が入力されているとき操作,設定していた機能は、信号が遮断されると操作できなくなります。

フロントパネル



⑫ BRIGHT 明るさ調節切替プッシュスイッチ/調節ツマミ / LED ユーザー設定表示

このツマミを押すとユーザー設定と STANDARD 標準設定(デフォルト)とが切り替えられます。ユーザー設定のとき LED 表示が点灯します。BRIGHT(明るさ) は、ツマミを回して調節します。STANDARD(デフォルト標準値)は、BRIGHT = 50 に設定されています。

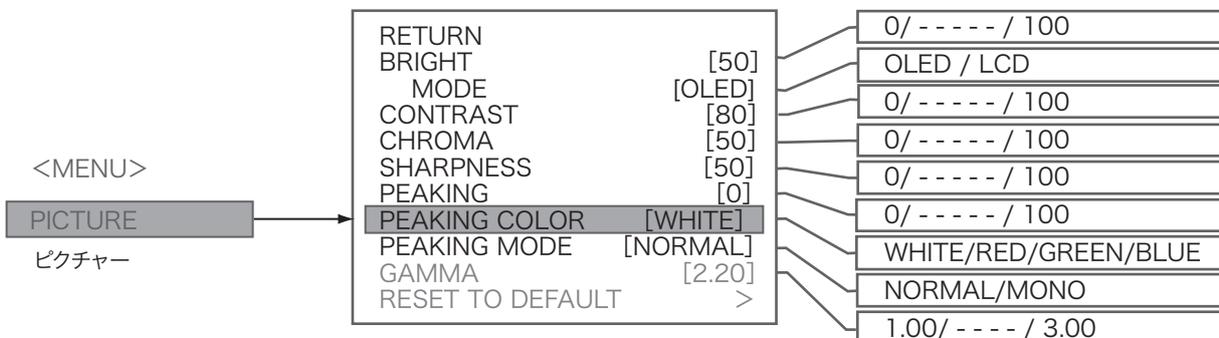
⑬ CONTRAST コントラスト調節切替プッシュスイッチ/調節ツマミ / LED ユーザー設定表示

このツマミを押すとユーザー設定と STANDARD 標準設定(デフォルト)とが切り替えられます。ユーザー設定のとき LED 表示が点灯します。コントラスト は、ツマミを回して調節します。STANDARD(デフォルト標準値)は、コントラスト = 80 に設定されています。

⑭ PEAKING ピーキング切替プッシュスイッチ/調節ツマミ / LED ユーザー設定表示

このツマミを押すとユーザー設定と STANDARD 標準設定(デフォルト)とが切り替えられます。ユーザー設定のとき LED 表示が点灯します。ピーキングレベル は、ツマミを回して調節します。STANDARD(デフォルト標準値)は、ピーキングレベル = 0 に設定されています。

ピーキングの表示色を、メニューで WHITE/RED/GREEN/BLUE から選択することができます。



BRIGHT(明るさ),CONTRAST(コントラスト),CHROMA(クロマ),SHARPNESS(シャープネス)はメニューで 設定することができます。

フロントパネル

⑮ ASSIGN プリセットファンクションアサインボタン

各種ファンクションをメニューでアサイン(プリセット)して、ボタンを押すとプリセットファンクションが機能します。



アサイン ファンクション	ASSIGNボタンを押すと 機能します(画面左下に表示)
PIC IN PIC	→PICTURE IN PICTURE →OFF
SDI TPG	→TPG PATTERN 1 →TPG PATTERN 2 →OFF
SCAN	→OVER →NORMAL
MAGNIFY	→MAGNIFY →NORMAL
HV DELAY	→HV DELAY ON →OFF
PIXEL BY PIXEL	→PIXEL BY PIXEL →NORMAL

アサイン ファンクション：ファンクション(機能)の内容

PICTURE IN PICTURE：(SDI)RET IN 入力の映像を子画面に表示。表示位置をメニューで選択できます。

TPG (テストパターン)：カラーバー(TPG PATTERN 1)、パソロジカル (TPG PATTERN 2)が 画面表示および SDI OUT(BNC)コネクタから出力されます。

SCAN(スキャン)：OVER 105%スキャン、NORMAL 100%スキャン を切り替えます。

MAGNIFY(拡大表示)：画像の一部を拡大表示します。
拡大表示のとき、ASSIGNボタンを長押しすると、拡大位置が移動できます。

HV DELAY：HV DELAY によりブランキング領域の信号のチェックが可能です。

PIXEL BY PIXEL：入力映像をピクセル等倍表示します。
PIXEL BY PIXEL表示のとき、ASSIGNボタンを長押しすると、表示位置が移動できます。

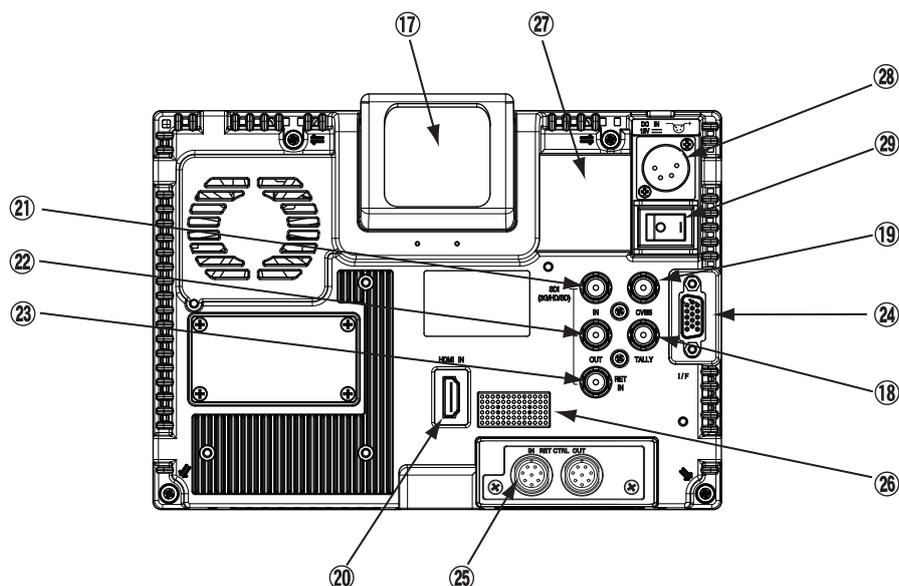
⑯ ヘッドホンジャック (φ 3.5 ステレオミニジャック)

ヘッドホンを接続してオーディオをモニターします。ヘッドホンが接続されていると、モニタースピーカーからは音はでません。VOLUME/PUSH SELECT (ボリュームコントロール/CH切替スイッチ) ツマミを押して選択したCHの音声をモニターします。ツマミを押すと、出力CHが、→1&2→3&4→1→2→3→4→5→6→7→8→USER(メニューで設定)→ の順に切り替わります。USER設定で CH 9～CH 16がモニターできます。

モニターCHのUSER設定： → MENU → AUDIO → LEFT CHANNEL [1CH] =CHANNEL1 to CHANNEL16
RIGHT CHANNEL [2CH] =CHANNEL1 to CHANNEL16

ユーティリティ測定器機能のオーディオレベルメーターでは、UTILボタンを押すと、ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、オーディオ16CHの画面で オーディオ16CH のレベルメーターが表示され、エンベデッドオーディオ16CH すべてのレベルがモニターできます。

リアパネル



⑰ リアタリー表示LED (UP TALLY) (赤)

リアタリー(レッドのみ) は、TALLY のタリー信号で点灯します。
 メニュー/SETUP/TALLY TYPE で入力するタリー信号を選択します。
 リアタリー(レッドのみ) は、メニュー SETUP/UP TALLYで OFF(消灯)/LOW(暗)/HIGH(明)に切り替えることができます。

TALLY TYPE [VOLTAGE] のとき TALLYコネクタ 電圧入力：タリー信号の電圧が 4.3 - 5.0 V のとき <赤> 点灯
 信号の電圧が 0 - 1.7 V のとき消灯

TALLY TYPE [ON/OFF] のとき TALLYコネクタ ON/OFF入力：タリー信号が ON(short)のとき <赤> 点灯
 OFF(open)のとき消灯

また、TC TALLY 機能(REC タリー)を搭載しています。TC TALLY は、赤のみ点灯します。

TC TALLY : フロントパネル ファンクションボタン TC TALLYを押して TC TALLY に設定します。

TC TALLY は、TC信号をエンベッドされた HD-SDI 信号が SDI(HD/SD) IN またはRET IN に入力しているとき、かつ、タイムコードがカウントアップしているとき、レッドタリーが点灯します。

⑱ TALLY タリー信号入力コネクタ (BNC)

タリー信号を入力します。
 フロントタリーは、タリー信号の電圧によってRED(4.3~5.0V) または GREEN(2.3~3.7V) に点灯します。
 リアタリーはレッドのみです。

⑲ CVBS コンポジットビデオ信号入力コネクタ (BNC)

コンポジットビデオ信号を入力します。

リアパネル

- ⑳ HDMI IN HDMI信号入力コネクタ (HDMI type-A)
HDMI信号を入力します。
- ㉑ SDI(HD/SD) IN SDI ビデオ信号入力コネクタ (BNC)
HD-SDI/SD-SDI 信号をカメラ等から入力します。
- ㉒ SDI(HD/SD) OUT SDI ビデオ信号出力コネクタ (BNC)
SD(HD/SD) IN 1 コネクタに入力されたHD-SDI / SD-SDI 信号をスルーで出力します。
スイッチャー等の入力へ接続します。
- ㉓ SDI(HD/SD) RET IN SDI リターンビデオ信号入力コネクタ (BNC)
リターンビデオ信号SDI (HD/SD)を入力します。スイッチャー等の出力から接続します。

㉔ I/F (インターフェース) コネクタ (HD D-sub 15-pin)

汎用コンポーネント信号入力/DC電源入力コネクタです。
アナログHDコンポーネント(Y/PB/PR)またはRGB(SoG) 信号を入力できます。
カメラのVFコネクタへ HD D-sub 15-pinケーブルで接続します。

注意：VF コネクタとの接続には、専用のケーブルをご使用ください。
VF IF コネクタ(12-pin)との併用はできません。



I/F

1	R-Y IN
2	Y IN
3	B-Y IN
4	REC TALLY
5	SHIELD
6	AGND R-Y
7	AGND Y
8	AGND B-Y
9	BATT IND
10	PGND
11	SLD
12	SDA
13	POWER (+12V)
14	POWER (+12V)
15	SCL

㉕ RET CTRL IN-OUT connectors (8-pin/8-pin)

RET CTRL IN リターンコントロール入力コネクタへズームリモコンまたはリターン切替
スイッチから 8ピンケーブルで接続します。
RET CTRL OUT リターンコントロール出力コネクタからズームレンズまたはカメラの
リターンコントロールコネクタへ8ピンケーブルで接続します。

㉖ モニタースピーカー

VOLUME/PUSH SELECT (ポリウムコントロール/CH切替スイッチ) ツマミを押して選択したCHの音声をモニターします。
ツマミを押すと、出力CHが、→1&2→3&4→1→2→3→4→5→6→7→8→USER(メニューで設定)→ の順に切り替わります。
USER設定で CH 9～CH 16がモニターできます。ヘッドホンが接続されていると、モニタースピーカーからは音はできません。

モニターCHのUSER設定： → MENU → AUDIO → LEFT CHANNEL [1CH] =CHANNEL1 to CHANNEL16
RIGHT CHANNEL [2CH] =CHANNEL1 to CHANNEL16

ユーティリティ測定器機能のオーディオレベルメーターでは、UTILボタンを押すと、
ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、オーディオ16CHの画面で オーディオ16CH のレベルメーター表示され、
エンベデッドオーディオ16CH すべてがレベルメーターでモニターできます。

リアパネル

⑳ 冷却ファン

POWER電源スイッチを ON すると、ファンが回転します。

㉑ DC IN 12V DC電源入力コネクタ (XLR 4-pin)

ACアダプタを接続して電源を供給します。

㉒ POWER 電源スイッチ

電源スイッチを ON すると、前面パネルのPOWER電源表示LED が点灯します。

㉓ Vマウントバッテリーアダプター (オプション)

Vマウントバッテリーシュー/DC電源入力コネクタ

Vマウントバッテリーパックを装着します。

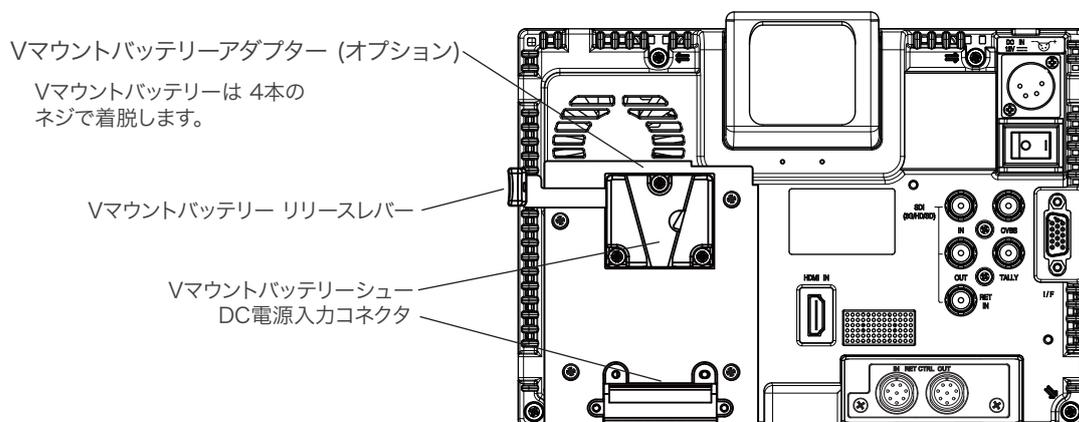
Vマウントバッテリーパックを装着したときには、バッテリーパックが確実にロックされていることを確認してください。

注意：必ず、SONY社製Vマウントバッテリーパックをご使用ください。

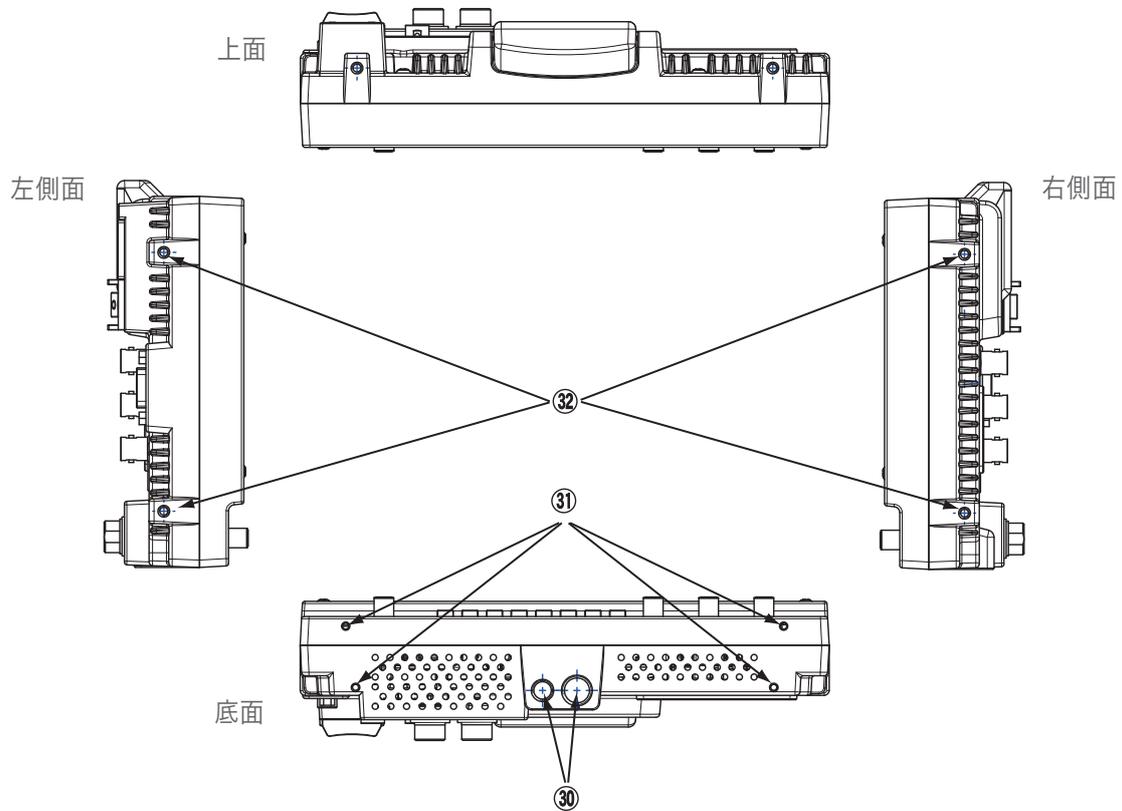
Vマウントバッテリー リリースレバー

Vマウントバッテリーパックを取り出すとき押します。

Vマウントバッテリーパックを装着したときには、バッテリーパックが確実にロックされていることを確認してください。



左側面, 右側面 および 上面, 底面



- ③⑩ 1/4 インチ / 3/8 インチ カメラネジ(三脚ネジ)ネジ穴 (×1/×1)

三脚等 またはユニバーサルヘッドへの取り付けに使用します。

- ③⑪ ロケーションスタンド取付けネジ穴 (×4)

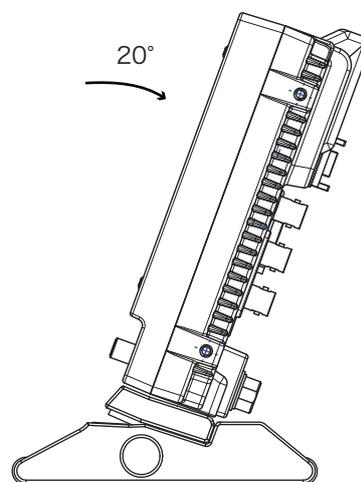
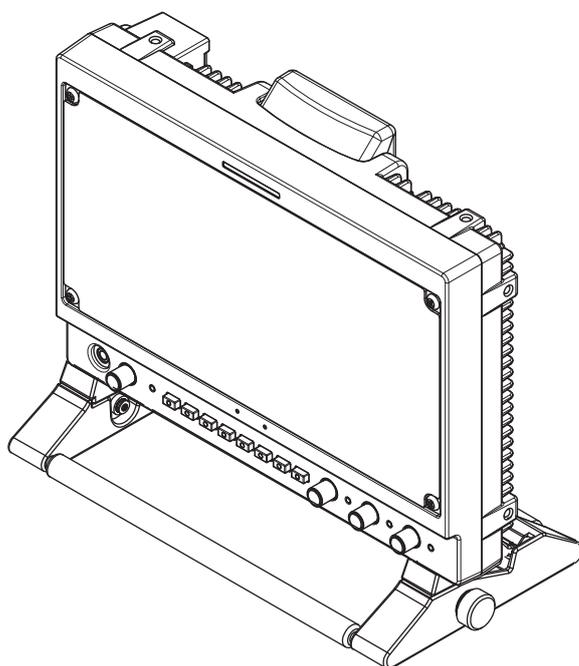
ロケーションスタンドの取り付けに使用します。

- ③⑫ ネジ穴 (×4, 左, 右)

スタジオキット(オプション)の取り付けに使用します。

ロケーションスタンド

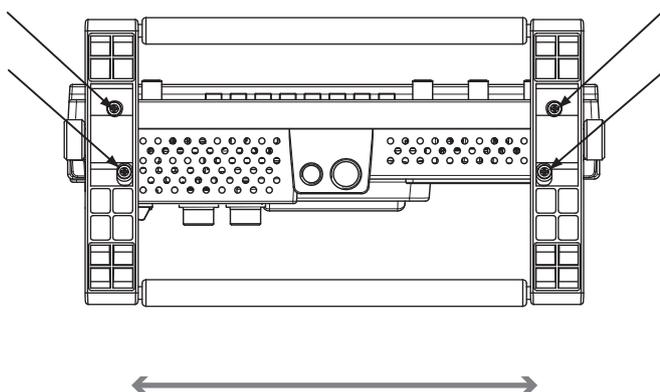
ロケーションスタンド



画面を 仰角20° 傾けることができます。
両側面のネジをゆるめて傾けてください。

ロケーションスタンド の脱着方法

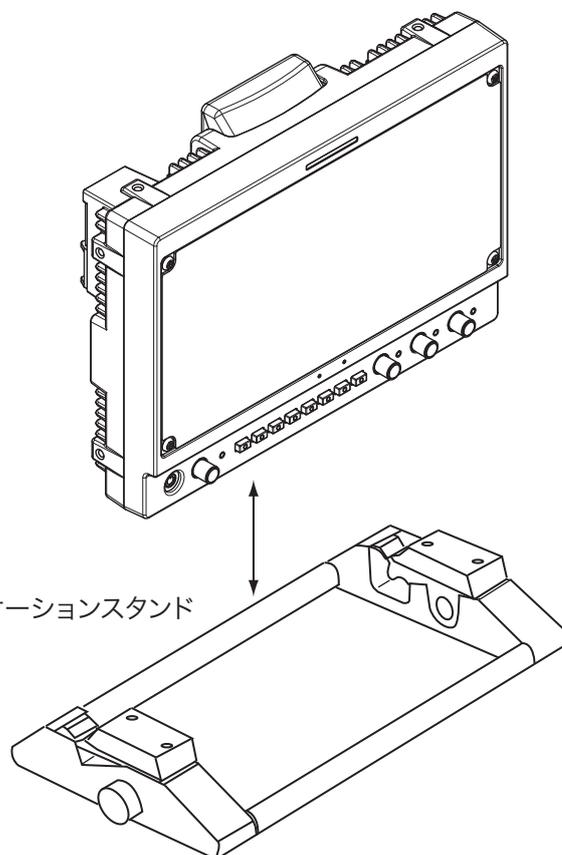
ロケーションスタンドの脱着は、本体の底面の4本のネジで行います。

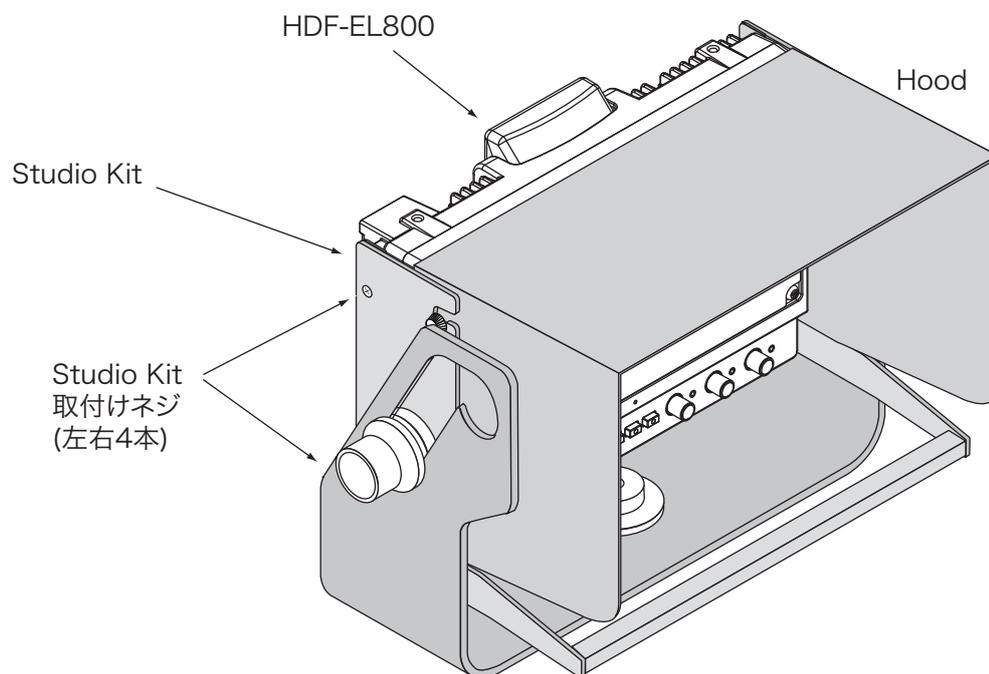


(NOTE) ロケーションスタンドを装着するとき：

ロケーションスタンドの幅を調整して、本体底面のネジ穴の幅に合わせて取り付けます。

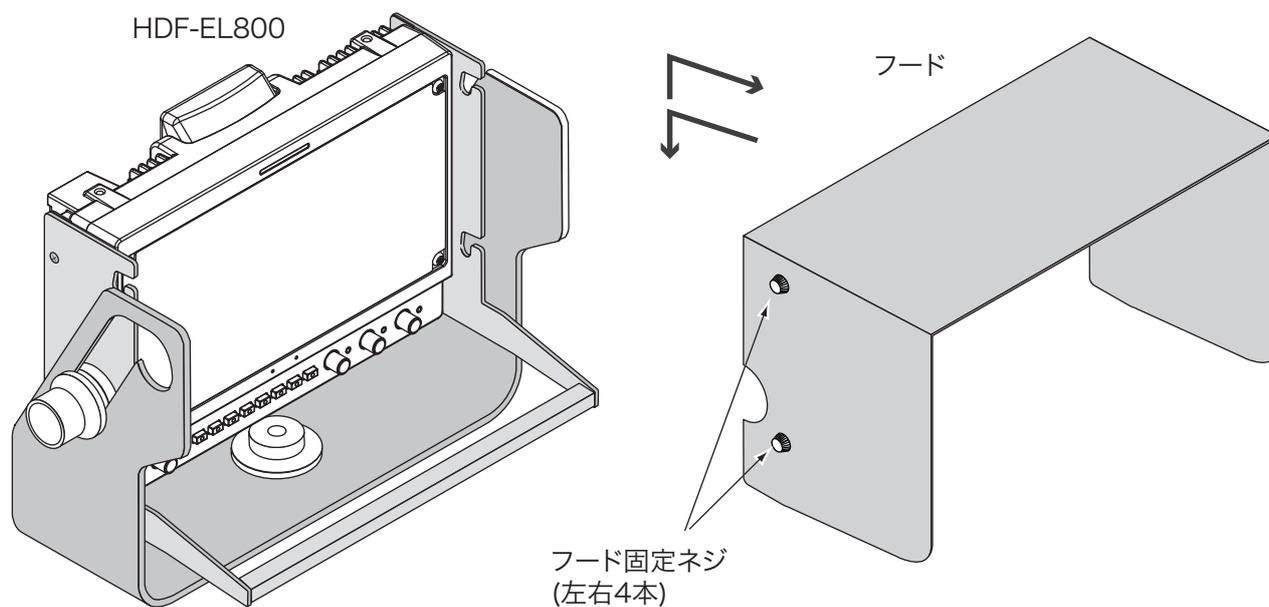
ロケーションスタンド





Hood の脱着方法

- 1 (取り外し) フード側面の4本のフード固定ネジをゆるめて外します。
- 2 (取り付け) 本体にフードを取り付け、4本のネジで締め付けます。



接続方法

HD ビューファインダー HDF-EL800

HDF-EL800 接続方法

⚠ 接続する前には、各機器の電源スイッチをOFFにしてください。

接続

カメラ, 等から

VBSコンポジット 出力

カメラ, レコーダー, 等から
SDI IN(BNC)

HD-SDI 出力

カメラから I/F (HD D-sub 15-pin)

アナログコンポーネント出力 (Y/PB/PR or RGB)
TALLY信号
DC電源

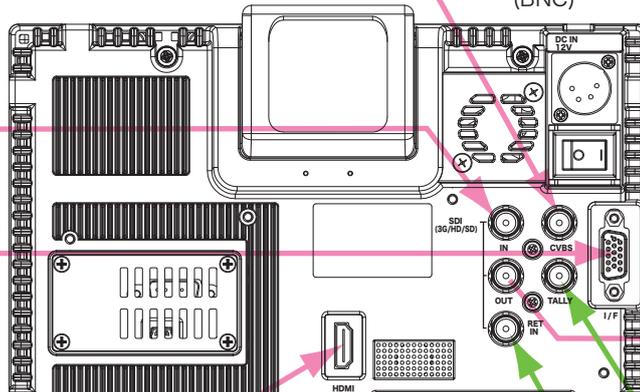
カメラ, レコーダー, 等から
HDMI 出力

HDMI IN

リターンスイッチ, ズームリモコン, 等から

カメラ/レンズへ

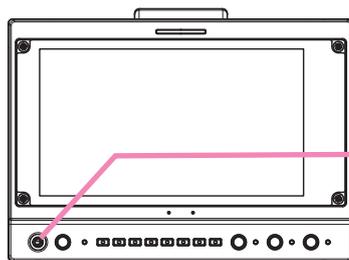
CVBS (BNC)



モニター, 等へ
HD-SDI 入力

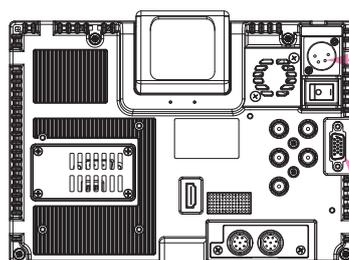
カメラアダプタ, スイッチャー, 等から
タリー 出力

カメラアダプタ, スイッチャー, 等から
HD-SDI 出力



Headphone へ

DC 電源の接続



ACアダプターから

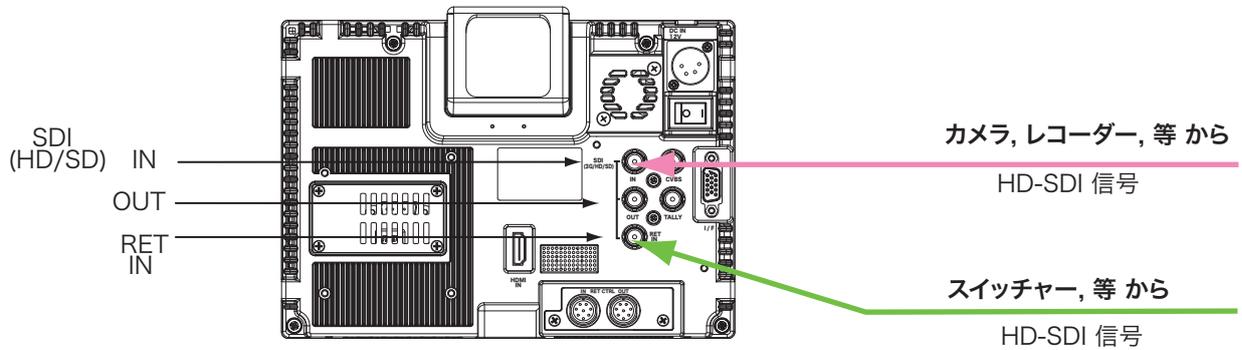
VF出力
タリー信号
DC電源

カメラから

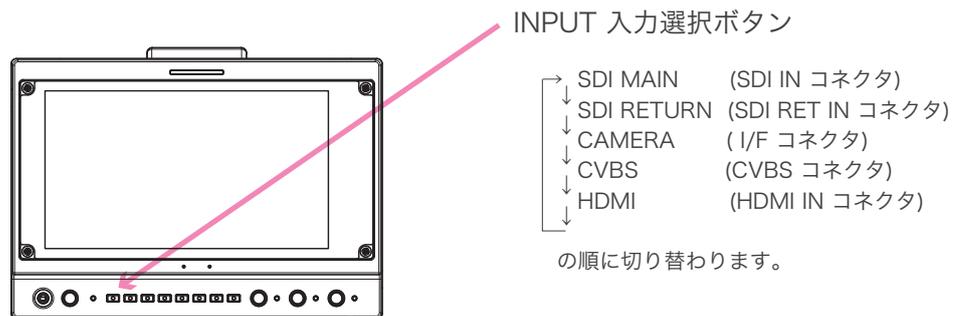
HD D-sub 15-pin ケーブル

HD/SD-SDIビデオ信号の接続

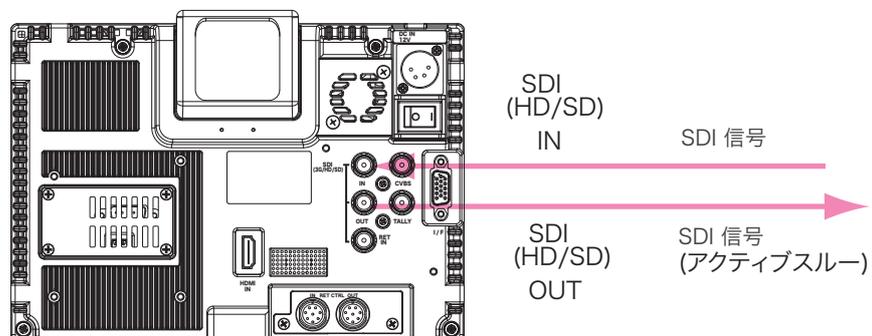
- 1 SDI(HD/SD) IN コネクタへカメラからのHD/SD-SDIビデオ信号を接続します。
RET IN ヘスイッチャー等からのHD/SD-SDIリターンビデオ信号を接続します。



- 2 INPUT 入力選択ボタンを押して入力を選択します。画面左下に入力コネクタが表示されます。



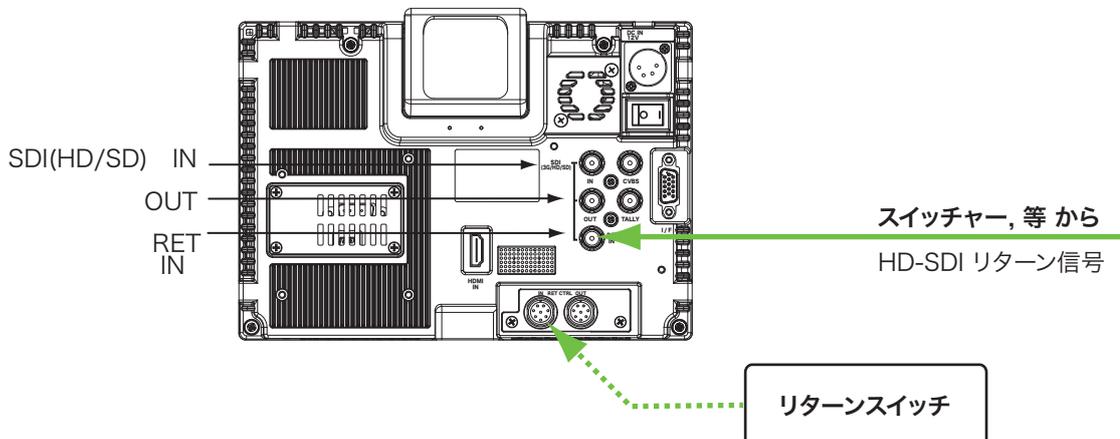
- 3 SDI(HD/SD) OUT からは、SDI(HD/SD) IN の入力信号がループスルー出力されます。(アクティブスルー)



HD/SD-SDIリターンビデオ信号の接続

1 SDI(HD/SD) リターンビデオ信号

RET IN ヘスイッチャー等からの HD/SD-SDI リターンビデオ信号を接続します。

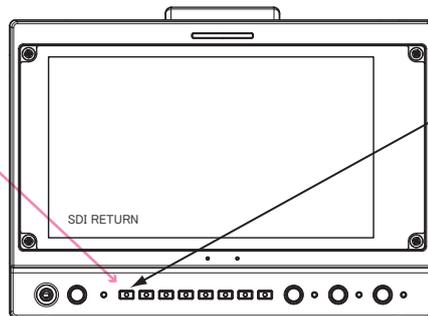


2 INPUT 入力選択ボタンを押して SDI RETURN を選択します。
画面左下に SDI RETURN が表示されます。

INPUT 入力選択ボタン

- SDI MAIN
- SDI RETURN
- CAMERA
- CVBS
- HDMI

の順に切り替わります。

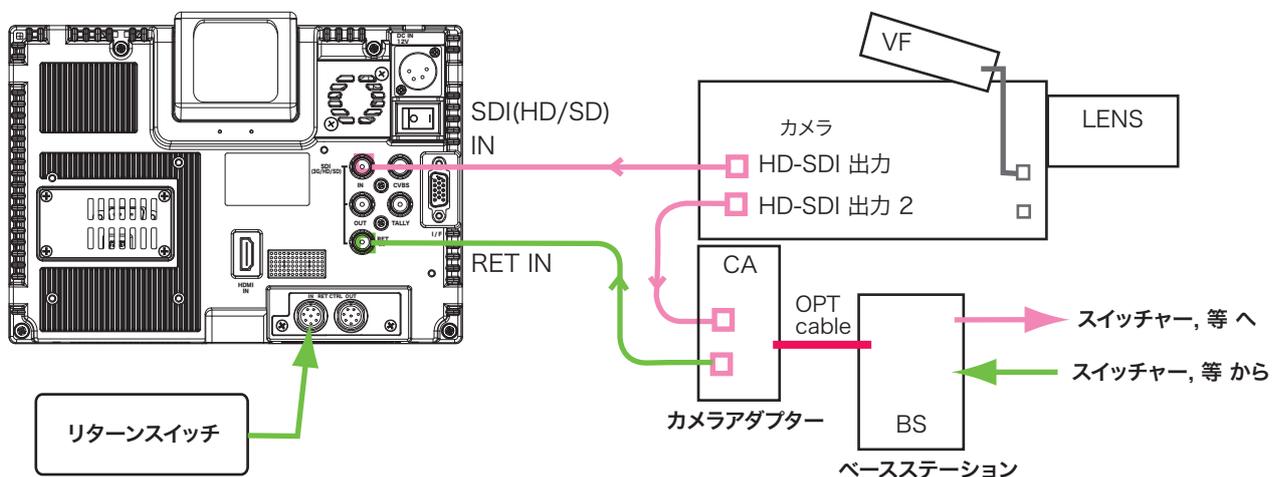


2-2



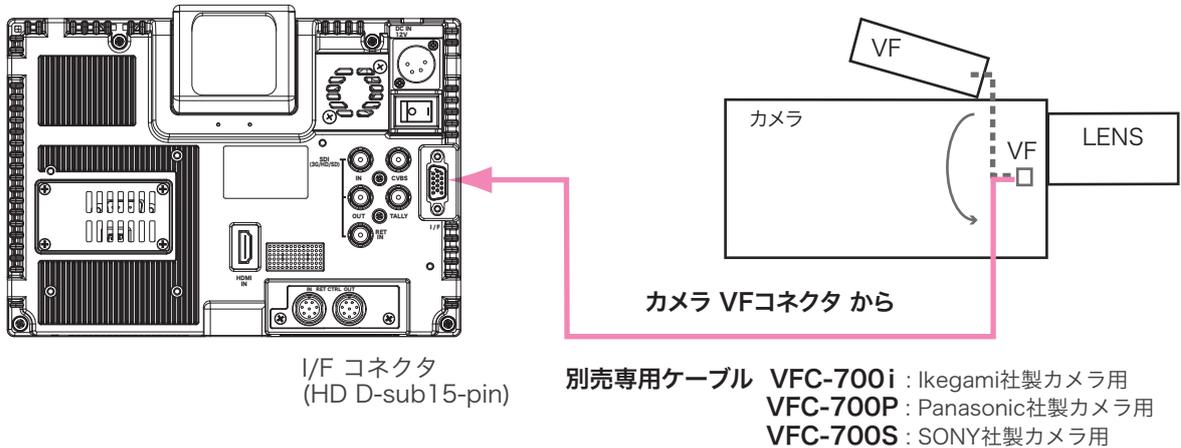
RETURN表示LED
リターンスイッチで
切り替えられた場合
LEDが赤色に点灯

2-2 SDI MAIN, CAMERA, HDMI 入力と SDI RETURN 入力との切り替えを リターンスイッチを接続して
行う場合は、入力選択 SDI MAIN のまま、リターンスイッチにて切り替わります。このとき、画面の
SDI RETURN の表示とともに INPUT 入力選択ボタンの RETURN表示LEDが点灯します。
※ SDI MAIN, CAMERA, HDMI と SDI RETURN の入力信号は、同一フォーマットの必要があります。

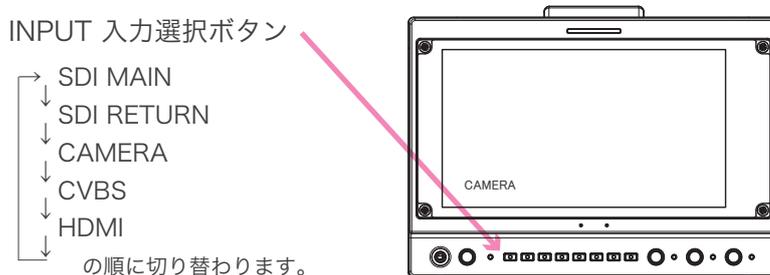


カメラの接続

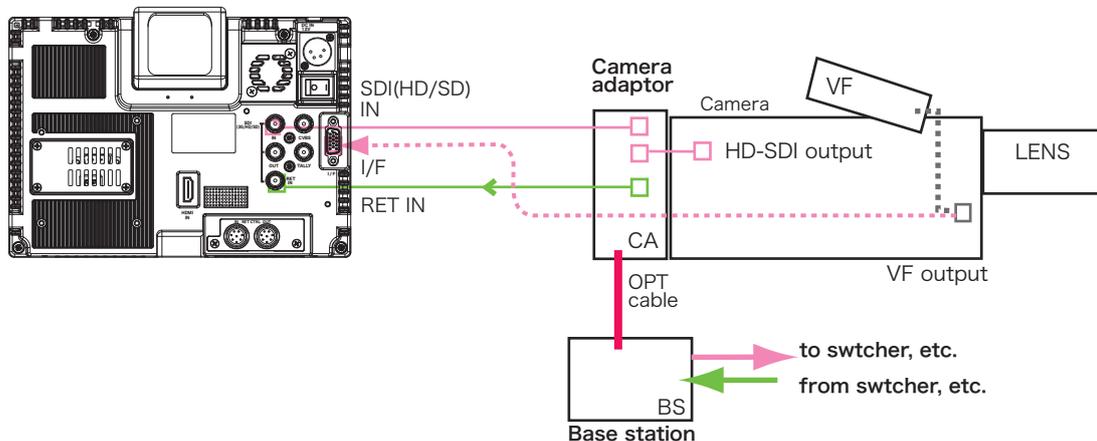
- 1 I/F コネクタ (HD D-sub 15-pin)へ カメラのVFコネクタから別売専用ケーブルで接続します。専用ケーブルでカメラからVFアナログコンポーネント信号,DC電源,タリー信号が入力されます。



- 2 INPUT 入力選択ボタンを押して CAMERA を選択します。画面左下に CAMERA の表示が出ます。

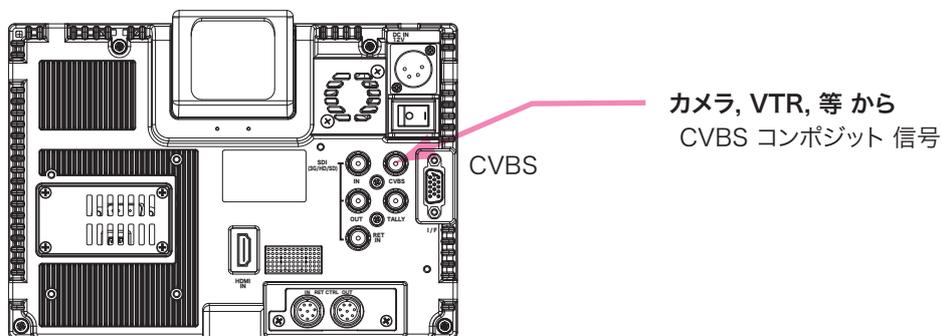


カメラアダプタ(CA)/ベースステーション(BS)を接続して使用する場合

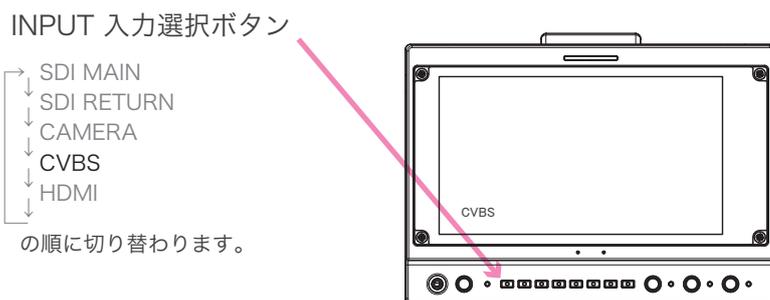


CVBS コンポジットビデオ信号の接続

1 CVBS 入力コネクタへ カメラのコンポジット出力コネクタから接続します。

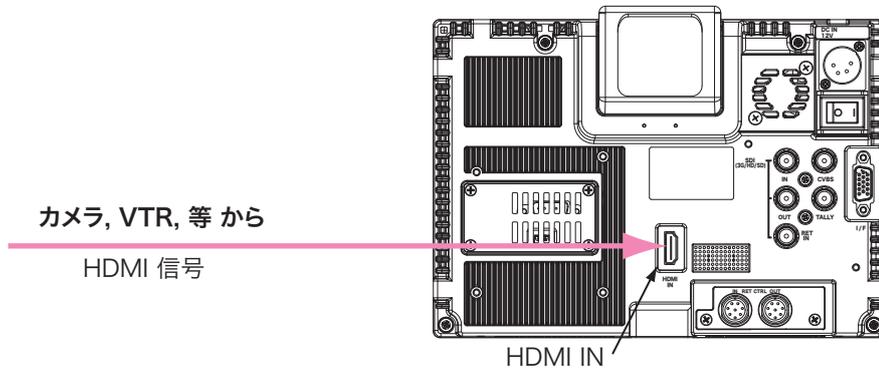


2 INPUT 入力選択ボタンを押して CVBS を選択します。画面左下に CVBS の表示が出ます。

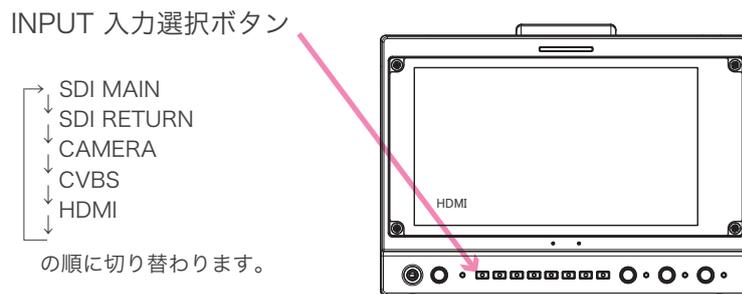


HDMI ビデオ信号の接続

1 HDMI IN 入力コネクタへカメラのHDMI 出力コネクタから接続します。

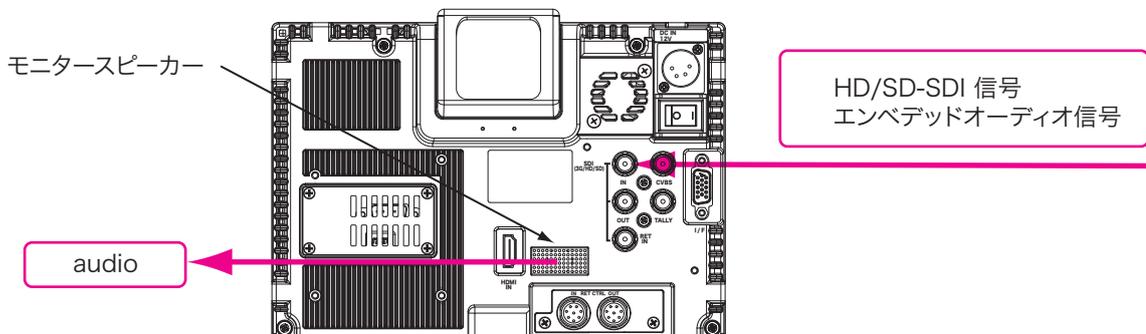


2 INPUT 入力選択ボタンを押して HDMI を選択します。画面左下に HDMI が表示されます。

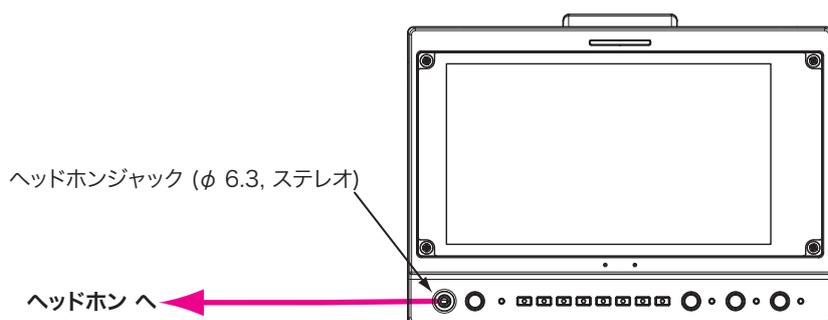


エンベデッドオーディオのモニター

1 エンベデッド音声モニターがモニタースピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。



2 ヘッドホンを使用してモニターする場合は、ヘッドホンジャックへ接続します。ヘッドホンを接続すると、モニタースピーカーの音声は遮断されます。



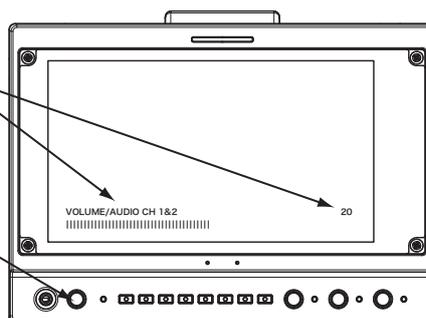
3 VOLUME/PUSH SELECT (ボリュームコントロール/CH切替スイッチ) ツマミを押してモニターCHを選択します。ツマミを押すと、出力CHが、順に切り替わります。USER設定で CH 9~CH 16がモニターできます。

モニターCH : →1&2→3&4→1→2→3→4→5→6→7→8→USER(メニューで設定)→

モニターCHのUSER設定 : → MENU → AUDIO → FRONT VOLUME [0] (メニューでも設定できます)
 HEADROOM START [-20dB]
 HEADROOM END [-6dB]
 LEFT CHANNEL [1CH] =CHANNEL 1 to 16
 RIGHT CHANNEL [2CH] =CHANNEL 1 to 16

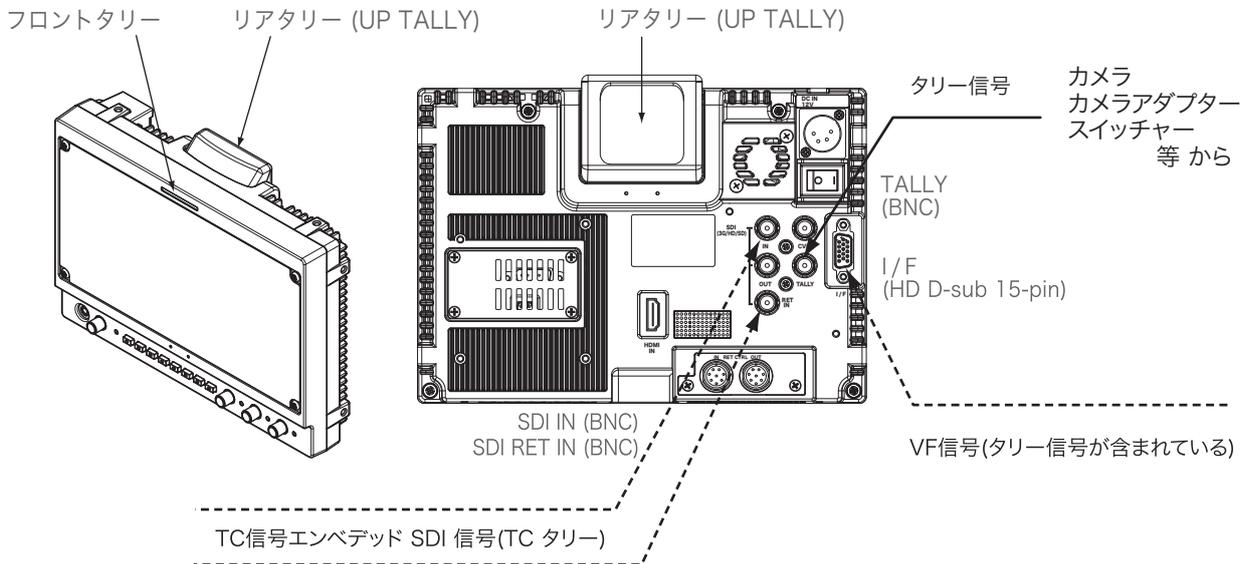
VOLUME/PUSH SELECT ツマミ を押すと画面下に VOLUME/AUDIO CH が表示されます。
 モニターCH (デフォルトは1&2)
 ボリューム : バーグラフ/数値 (デフォルトは 0)

VOLUME/PUSH SELECT ツマミ
 回す : ボリュームコントロール
 押す : CH選択切替スイッチ



タリー信号の接続

1 TALLY タリー信号入力コネクタにスイッチャー等のタリー出力を接続します。



2 TALLY コネクタのタリー入力信号は、メニューで選択できます。リアタリーはレッドタリーのみです。

MENU → SETUP → TALLY TYPE → [VOLTAGE]または[ON/OFF]を選択できます。
(デフォルトは、[VOLTAGE]です。)

[VOLTAGE] TYPE

TALLY コネクタ 入力信号	TALLY 表示LED	
	フロント	リア
4.3 - 5.0 V	赤RED	赤RED
2.3 - 3.7 V	緑GREEN	—
0 - 1.7 V	消灯OFF	消灯OFF

[ON/OFF] TYPE

TALLY コネクタ 入力信号	TALLY 表示LED	
	フロント	リア
Short (0 V)	赤RED	赤RED
Open	消灯OFF	消灯OFF

3 リアタリー(UP TALLY)(レッド)は メニューで OFF(消灯/デフォルト)/LOW/HIGH に切り替えができます。

MENU → SETUP → UP TALLY [HIGH]→ [OFF / LOW / HIGH] で選択できます。
(デフォルトは、[HIGH]です。)

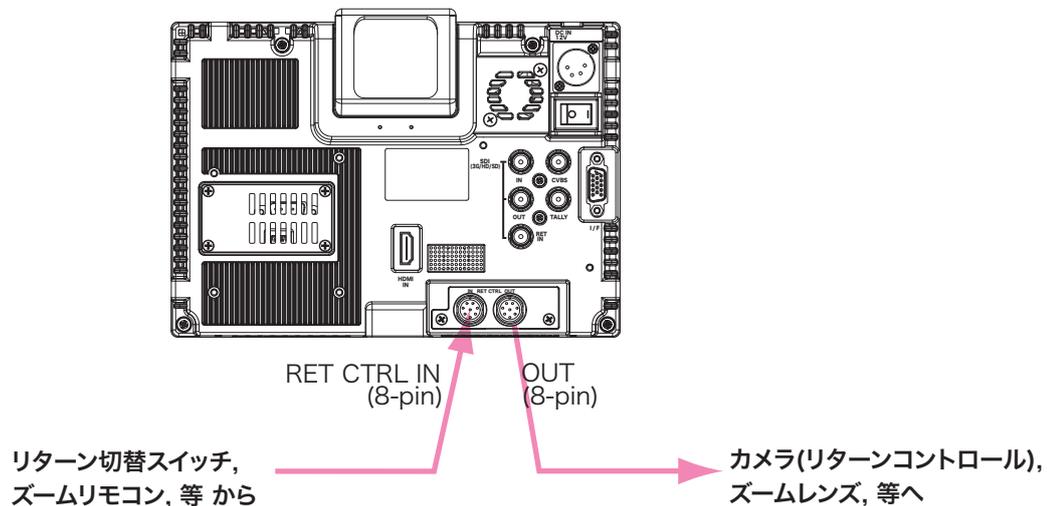
HIGH : (明) 赤タリーが明るく点灯
LOW : (暗) 赤タリーが減光して点灯
OFF : タリーが点灯しない。

4 TCタリーは、HD/SD-SDI ビデオ信号(エンベデッドTC信号)の接続/入力かつTC TALLYスイッチON(ENABLE)により機能します。

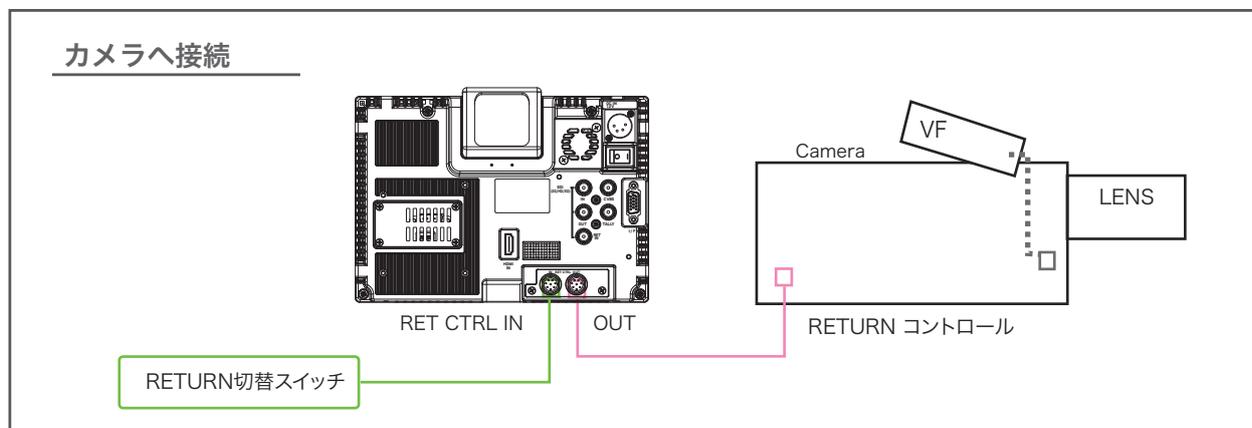
TC TALLY は、TC信号がエンベッドされている HD-SDI 信号が SDI(HD/SD) IN またはRET IN に入力し、かつタイムコードがカウントアップしているとき、レッドタリーが点灯します。

リターンコントロールの接続

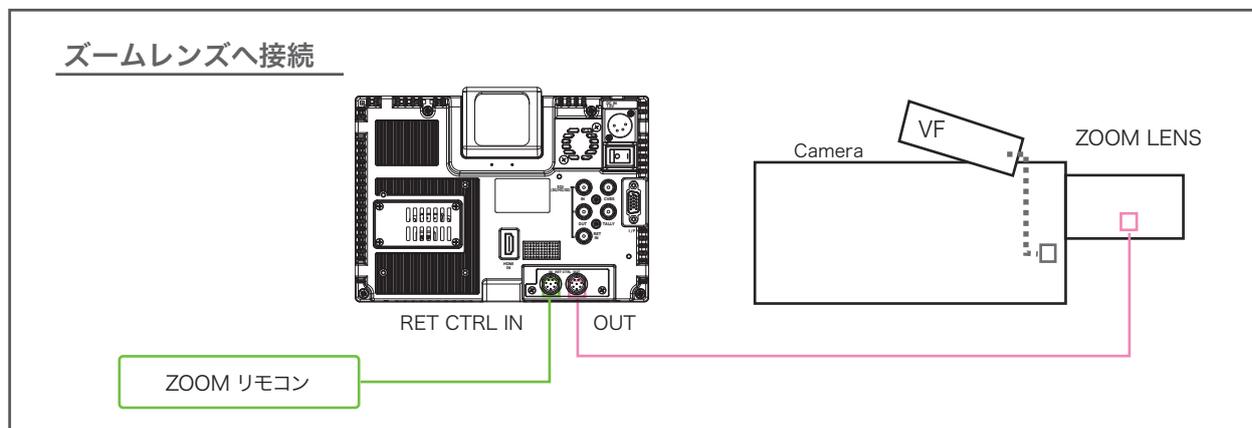
- RET CTRL IN リターンコントロール入力コネクタへズームリモコンまたはリターン切替スイッチから 8ピンケーブルで接続します。
RET CTRL OUT リターンコントロール出力コネクタからズームレンズまたはカメラのリターンコントロールコネクタへ8ピンケーブルで接続します。



カメラへ接続



ズームレンズへ接続

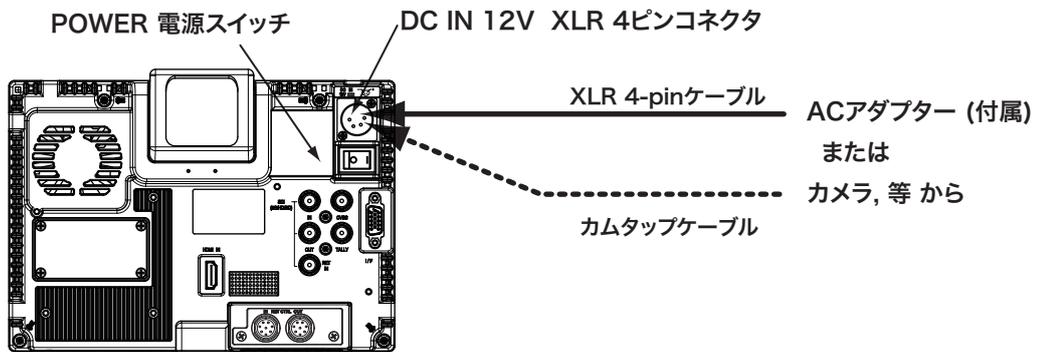


電源の接続

⚠ 接続する前には、必ず各機器の電源スイッチをOFFにしてください。

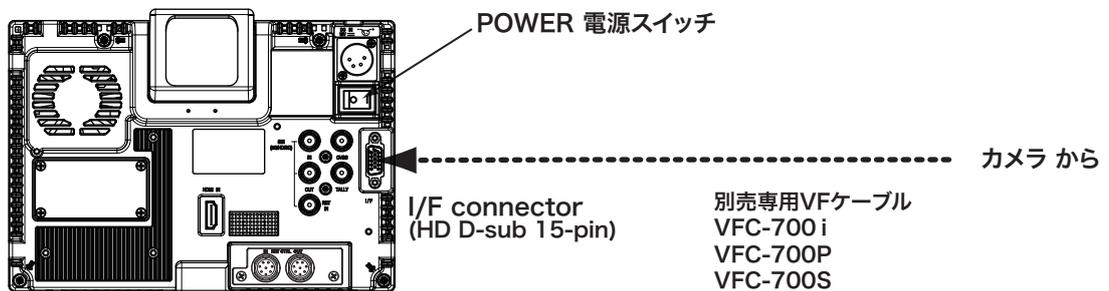
1 ACアダプターを使用する場合

リアパネルのDC IN 12V コネクタにACアダプターを接続します。



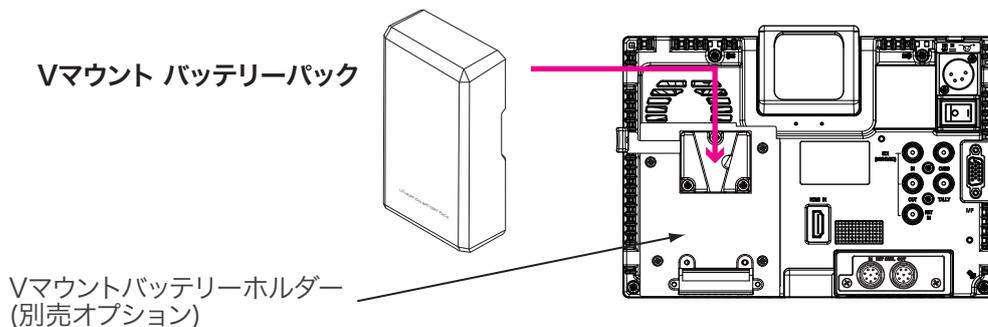
2 カメラのVFコネクタと専用VFケーブルで接続する場合

リアパネルのI/FコネクタまたはVFコネクタへカメラのVFコネクタから専用VFケーブルで接続します。専用ケーブル経由でDC電源,TALLY信号およびVF信号が供給されます。



3 Vマウントバッテリーを使用する場合

VマウントバッテリーをVマウントバッテリーホルダー(別売オプション)へ装着します。



注意：
必ず、SONY社製Vマウントバッテリーパックをご使用ください。

SONY社製品例：
BP-GL95A, BP-GL65A, BP-L80S, BP-L60S

Adjustments and Settings 調整・設定

HD ビューファインダー HDF-EL800

HDF-EL800 調整・設定

ビデオ信号の設定・調整

⚠ ユーザープリセットファンクション各機能は、信号が入力されているとき動作、操作ができます。

1 入力の選択

INPUTボタンを順次押して、リアパネルの入力コネクタに接続されたビデオ信号を選択します。選択された入力信号とそのビデオフォーマットが画面に表示されます。

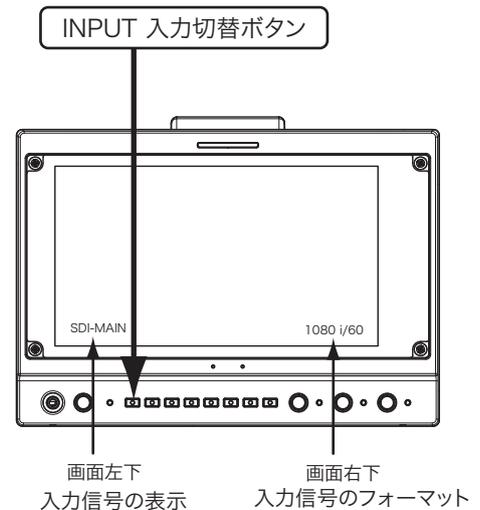
INPUT 入力切替ボタン

入力信号の表示	入力信号	(入力コネクタ)
[SDI-MAIN]	SDI 信号	(SDI(HD/SD) IN)
[SDI-RETURN]	SDI リターン信号	(RET IN)
[CAMERA]	VF アナログ コンポーネント信号	(I/F)
[CVBS]	アナログ コンポジット信号	(CVBS)
[HDMI]	HDMI 信号	(HDMI IN)

*1 (HD)アナログコンポーネント信号[Y/PB/PR または RGB] Y/PB/PR または RGB は、MENUで選択します。
MENU→COLOR→COLOR MATRIX→YPBPR/RGB

*2 接続されるカメラに合わせた専用のケーブル経由で、VF信号とともにDC電源、タリー信号が供給されます。

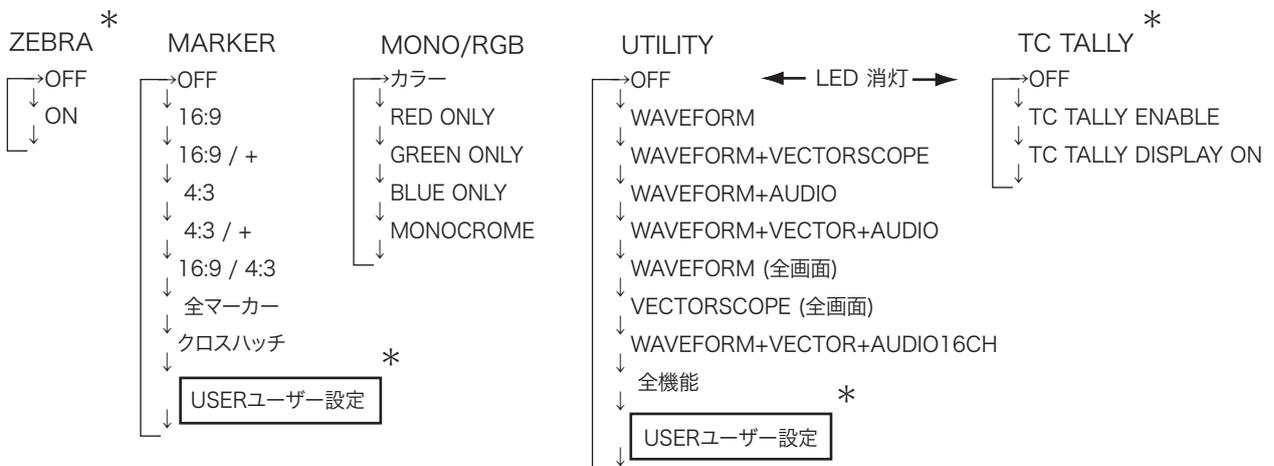
注意：VFコネクタとの接続には、専用のケーブルをご使用ください。そうしないと、カメラが故障、破損するおそれがあります。



※ 入力がない場合は [NO SYNC] と表示されます。

2 ファンクションの設定

各々の機能のファンクションボタンを順次押して、必要な機能を選択して表示させます。



*ゼブラ, マーカー USER, ユーティリティ(測定器機能)USER, TC TALLYは、メニューで設定された条件で表示します。

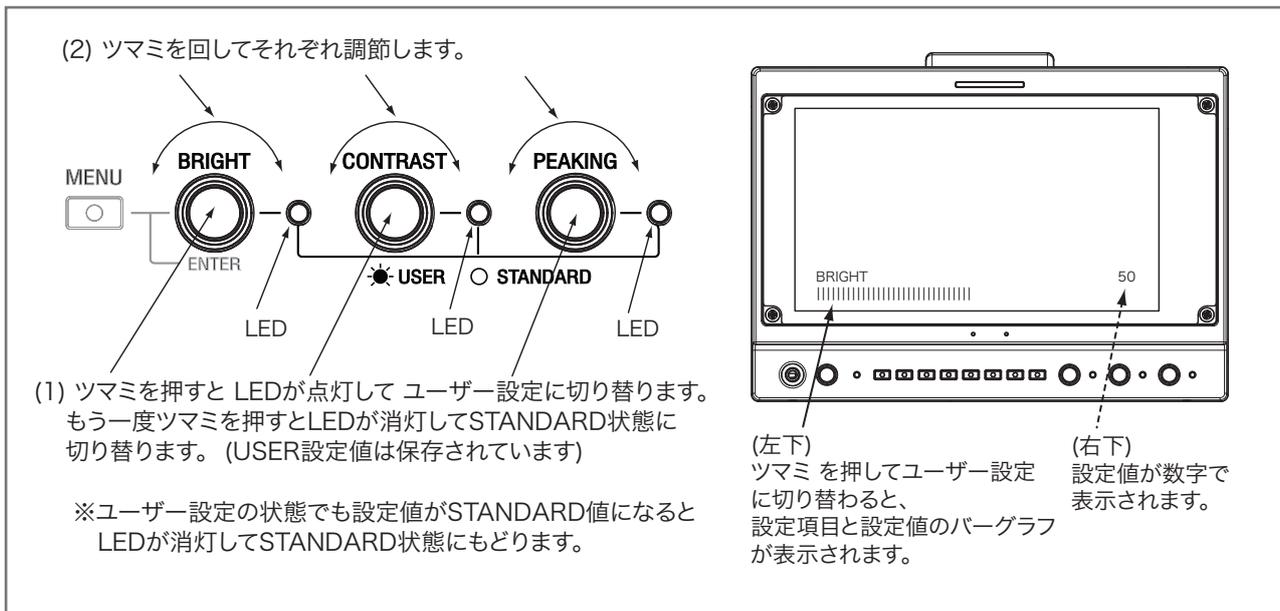
明るさ/コントラスト/ピーキングの調整

3 明るさ/コントラスト/ピーキングの調整

- (1) 明るさ/コントラスト/ピーキング のつまみを押して USER に切り替えます。このとき LED が点灯します。
- (2) つまみを回すと、それぞれ 0 から 100 の範囲で調節することができます。

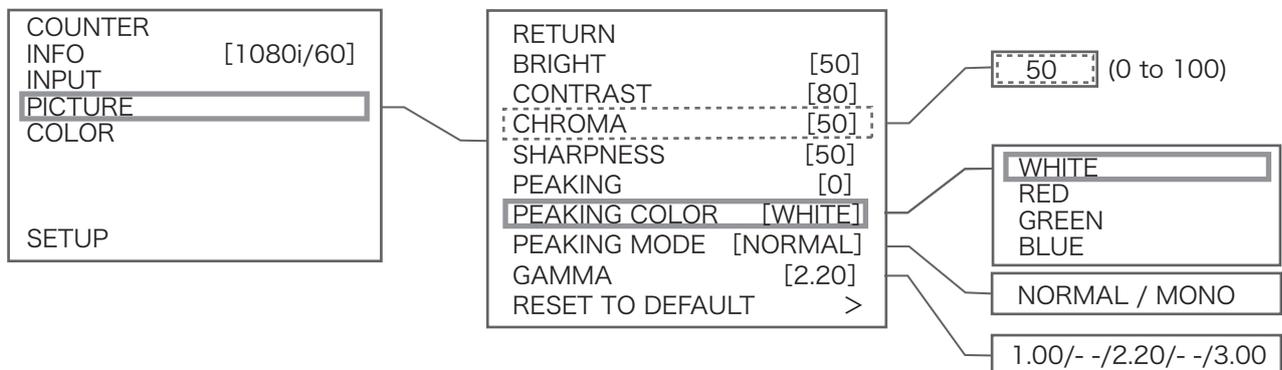
LED が消灯しているときは、それぞれ STANDARD(デフォルト設定値) に設定されています。

明るさ = 50
 コントラスト = 80
 ピーキング = 0



3-2 明るさ/コントラスト/ピーキング および CHROMA/シャープネスの調整

明るさ/コントラスト/ピーキング および CHROMA/シャープネスの調整は、メニュー上でできます。メニューで、MENU → PICTURE → 各項目を選択して設定します。設定範囲は 0~100 です。



3-3 ピーキングの表示色，モードを、メニューで選択できます。

3-4 GAMMA値を、メニューで、1.00~3.00 の範囲で変更できます。

アサインファンクション

4 ASSIGNファンクション

各種ファンクションをメニューでアサイン(プリセット)します。
ボタンを押すとプリセットファンクションが機能します。

ASSIGNボタンにアサイン(プリセット)できるファンクション

アサイン ファンクション	ASSIGNボタンを押すと 機能します(画面左下に表示)
PIC IN PIC	→PICTURE IN PICTURE →OFF
SDI TPG	→TPG PATTERN 1 →TPG PATTERN 2 →OFF
SCAN	→OVER →NORMAL
MAGNIFY	→MAGNIFY →NORMAL
HV DELAY	→HV DELAY ON →OFF
PIXEL BY PIXEL	→PIXEL BY PIXEL →NORMAL

アサイン ファンクション：ファンクション(機能)の内容

PICTURE IN PICTURE：(SDI)RET IN 入力の映像を子画面に表示。表示位置をメニューで選択できます。

TPG (テストパターン)：カラーバー(TPG PATTERN 1)、パソロジカル (TPG PATTERN 2)が 画面表示および SDI OUT(BNC)コネクタから出力されます。

SCAN(スキャン)：OVER 105%スキャン、NORMAL 100%スキャン を切り替えます。

MAGNIFY(拡大表示)：画像の一部を拡大表示します。P500= 3倍, HR550= 2倍
拡大表示のとき、ASSIGNボタンを長押しすると、拡大位置が移動できます。

HV DELAY：HV DELAY によりブランキング領域の信号のチェックが可能です。

PIXEL BY PIXEL：PIXEL BY PIXELで入力映像をピクセル等倍表示します。
PIXEL BY PIXEL表示のとき、ASSIGNボタンを長押しすると、表示位置が移動できます。

5 メニューの操作 - ユーザー設定 の方法

MENUボタン、ENTERツマミで各ファンクションを設定します。

5-1 メニューの表示

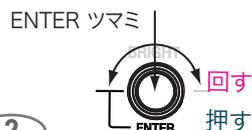
MENUボタンを押すと、メニューが画面に表示されます。



1

5-2 メニューの選択

ENTERツマミを回して設定したい項目にカーソルを移動すると、サブメニューが表示されます。ENTERツマミを押すと設定したい項目が確定され、サブメニューにカーソルが移動します。



2

5-3 サブメニュー 設定項目の選択

ENTERツマミを回して設定したい項目にカーソルを移動します。ENTERツマミを押すと設定したい項目が確定され、設定(値)リストが表示され、カーソルが移動します。



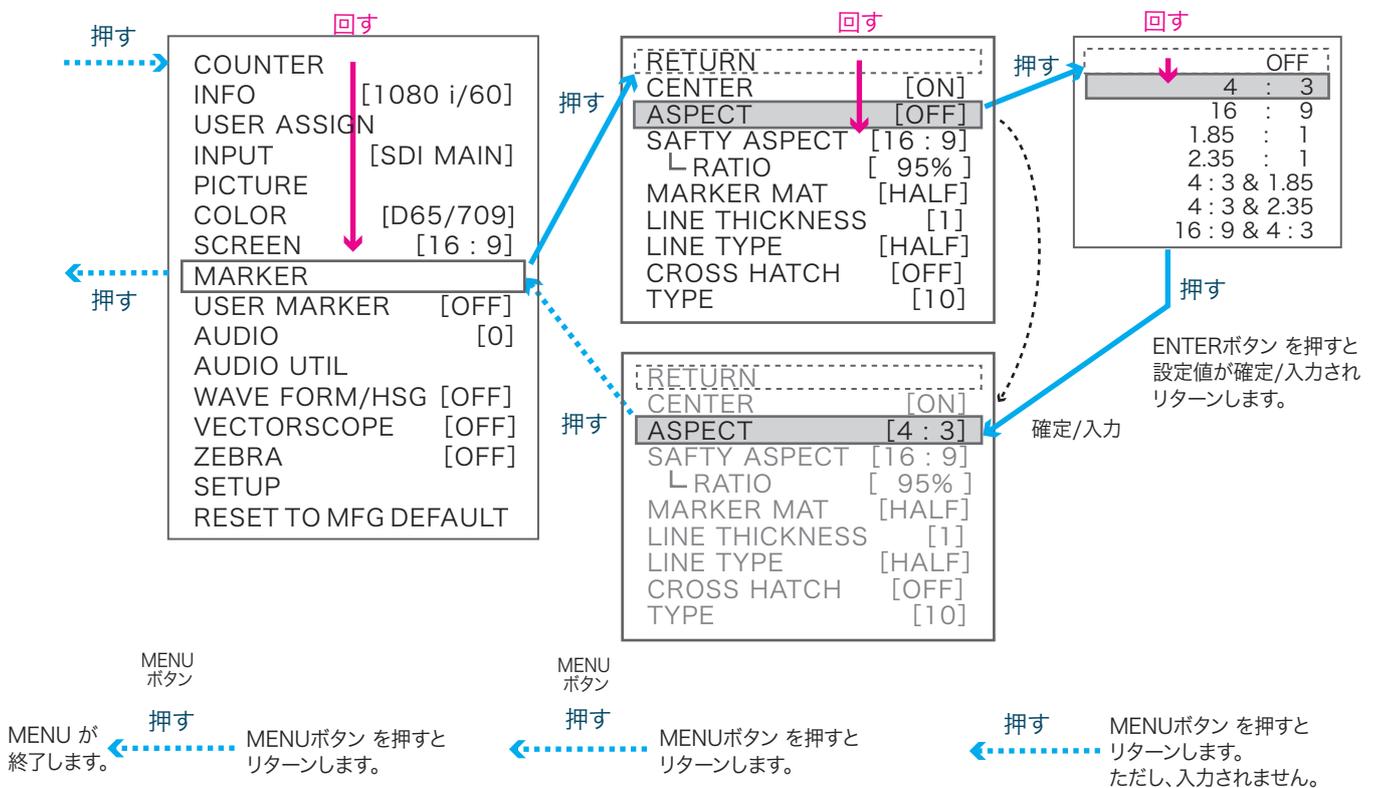
3

5-4 設定(設定値)の入力

ENTERツマミを回して設定したい項目、数値にカーソルを移動します。ENTERツマミを押すと設定が確定され、カーソルがサブメニューにもどり、設定(値)が設定項目の括弧[]に表示されます。



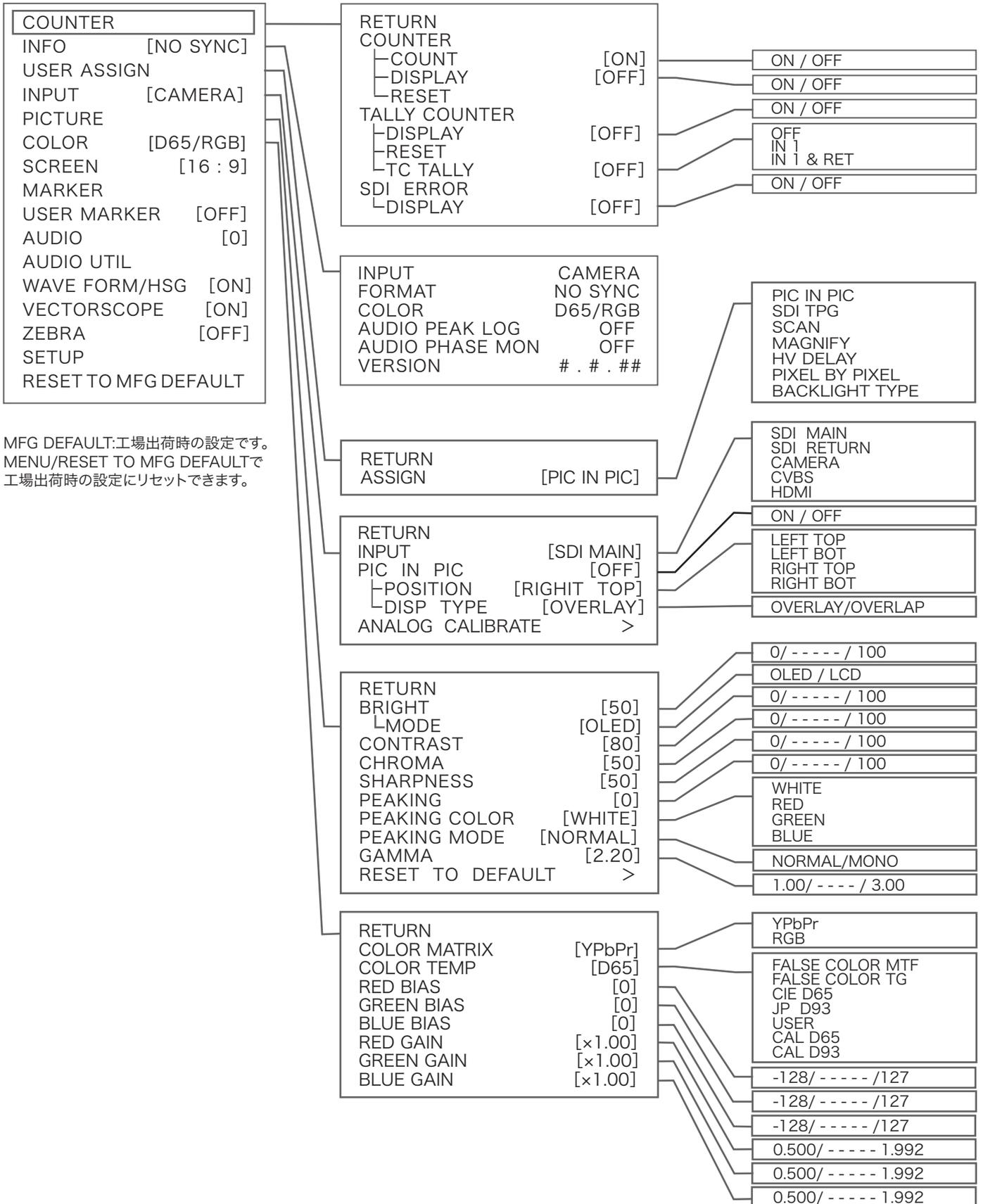
4



(MENUボタンが点灯しているときにMENUボタンを押すとリターンします。)

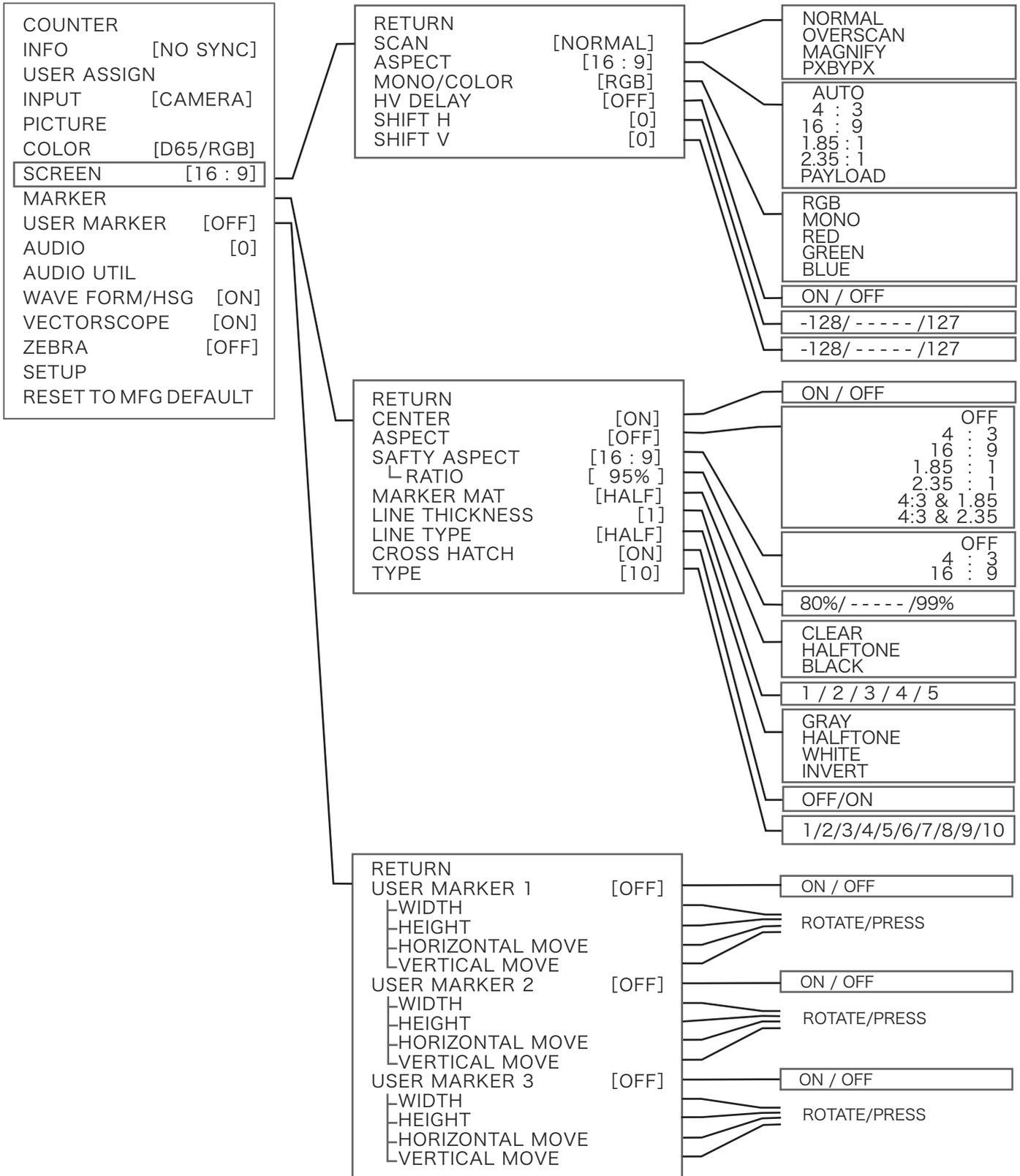
メニューの操作 - ユーザー設定 の方法

MENU 1

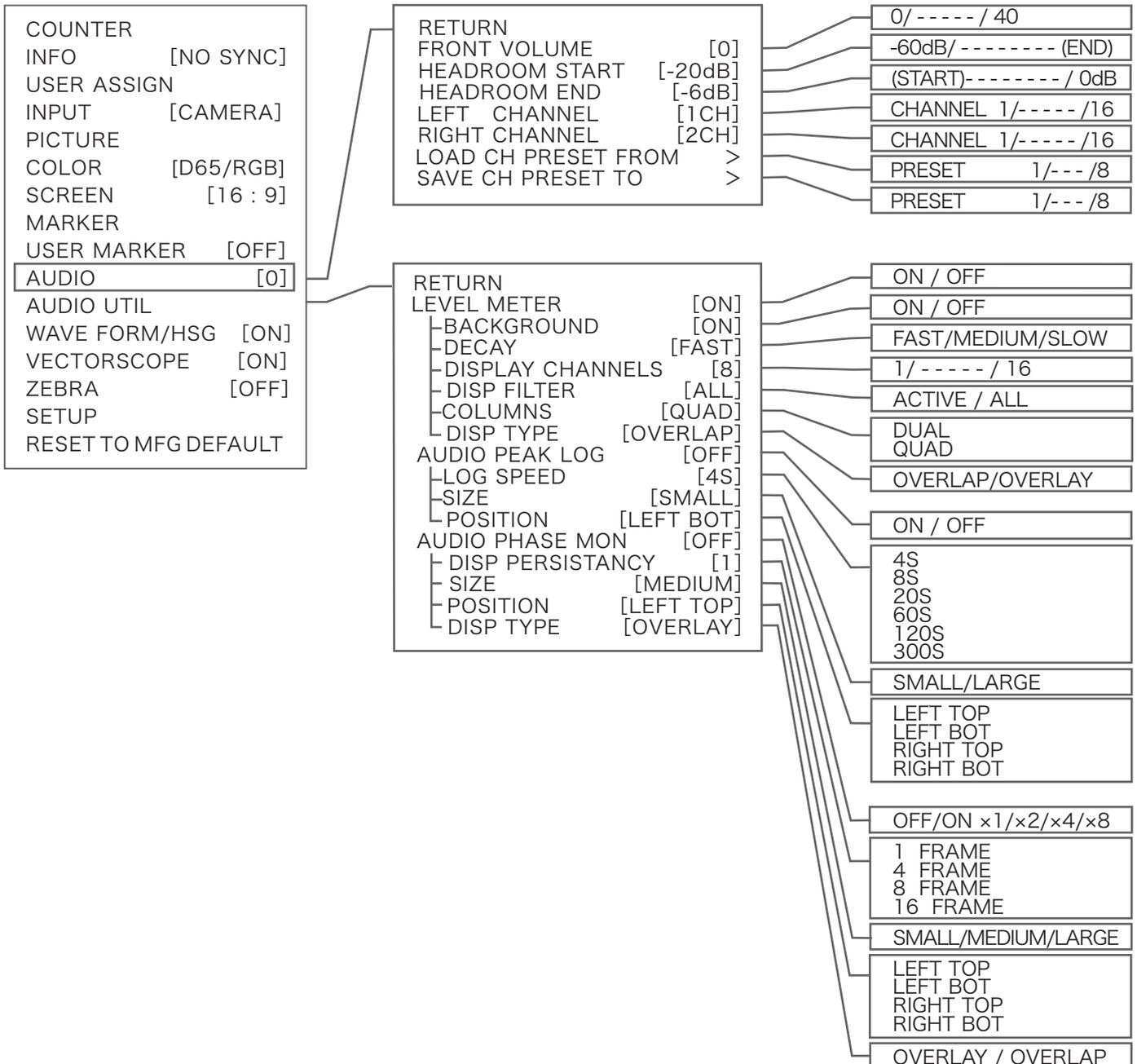


MFG DEFAULT:工場出荷時の設定です。
 MENU/RESET TO MFG DEFAULTで
 工場出荷時の設定にリセットできます。

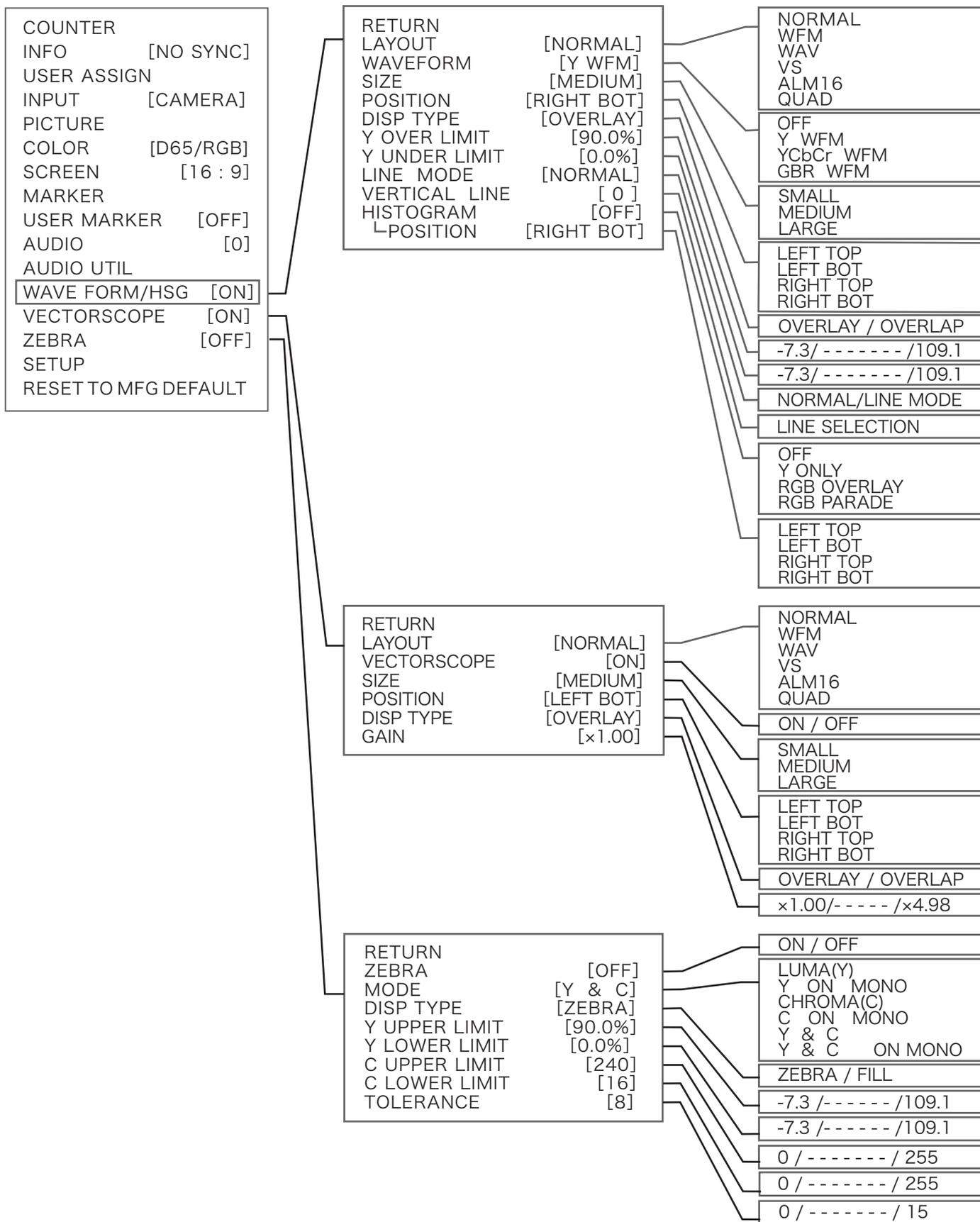
MENU 2



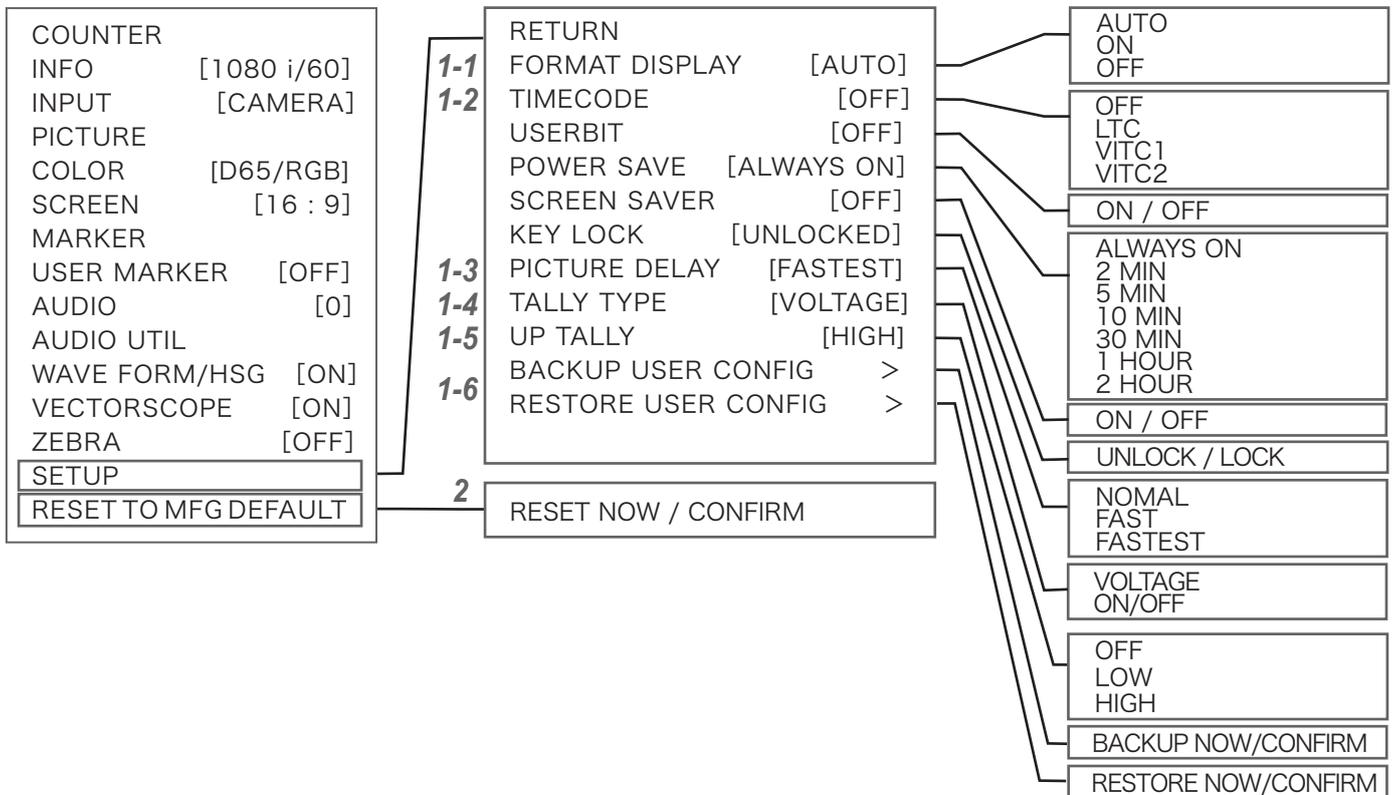
MENU 3



MENU 4



MENU 5



MENU メニュー表示ボタン / **ENTER** メニュー項目選択・入力設定ツマミ

MENU ボタン : MENU ボタンを押すと、メニューが画面に表示され、ボタンのLEDが点灯します。
(RETURN) LED が点灯しているとき、MENU ボタンを押すとカーソルが前へもどります。

ENTER ツマミ : MENU ボタンのLED が点灯しているとき、
ツマミを回して、メニューの項目、設定項目、設定値を選択します。
ENTER ツマミを押すと、カーソルの項目が確定し、カーソルが次へアクセスします。

1 セットアップ SETUP

1-1 ビデオフォーマットの表示 : FORMAT DISPLAY [AUTO]

入力信号のビデオフォーマットをスクリーン右下に表示します。[AUTO]のときは、入力切替後しばらく表示し、その後消えます。信号が入力していないときは、“NO SYNC”と表示されます。

- [AUTO] : 入力信号およびそのフォーマットを、切替後しばらく表示し、その後消えます。
消えた状態で INPUTボタンを押すと一旦そのときの入力信号のみ画面左下に表示します。
表示した状態で INPUTボタンを押すと切替が行われます。入力切替後しばらく表示し、その後消えます。
- [ON] : 入力信号およびそのフォーマットを画面下に常時表示します。INPUTボタンを押すと切替が行われます。
- [OFF] : 入力信号およびそのフォーマットは表示されません。(表示されていない状態で) INPUTボタンを押すと、ボタンを押した瞬間のみ次の入力信号のみ画面左下に表示し、切替が行われます。その後は表示されません。

1-2 タイムコードの表示 : TIMECODE [OFF]

タイムコード LTC, VITC1, VITC2 を選択して画面下に表示します。00:00:00:00

1-3 DELAY(遅延) の選択 : PICTURE DELAY [FASTEST]

映像処理時間のDELAY(遅延)を調整できます。FASTEST=最も早い/FAST=早い/NORMAL=通常 から選択します。映像処理時間が早いと遅延が減りますが、画質が低下することがあります。SDI IN のときのみ有効です。

1-4 タリー入力信号の選択 : TALLY TYPE [VOLTAGE]

タリー信号のタイプを選択します。

- [VOLTAGE]=入力信号が電圧信号 : 5.0-4.3V =赤 / 3.7-2.3V =緑 / 1.7-0V =(OFF)消灯
- [ON/OFF]= 入力信号が接点 short/open : short =(ON)赤 / open =(OFF)消灯

1-5 リアタリーの明るさ : UP TALLY [HIGH]

UP TALLY=(上部)リアタリーの明るさ を設定します。 HIGH=明, LOW=減光, OFF=消灯。

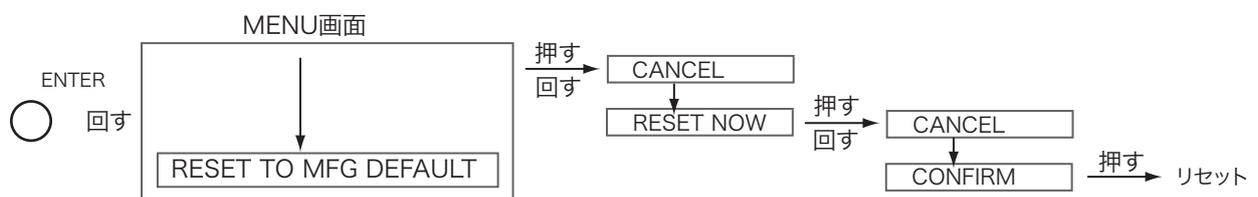
1-6 USER設定のバックアップ/復元 :

BACKUP USER CONFIG > : USER設定された内容、設定値がメモリーに保存されます。
RESTORE USER CONFIG > : USER設定された内容、設定値がメモリーから復元されます。

メモリーに保存されたUSER設定の内容、設定値は、RESET を行っても消去されません。

2 USER設定値のリセット

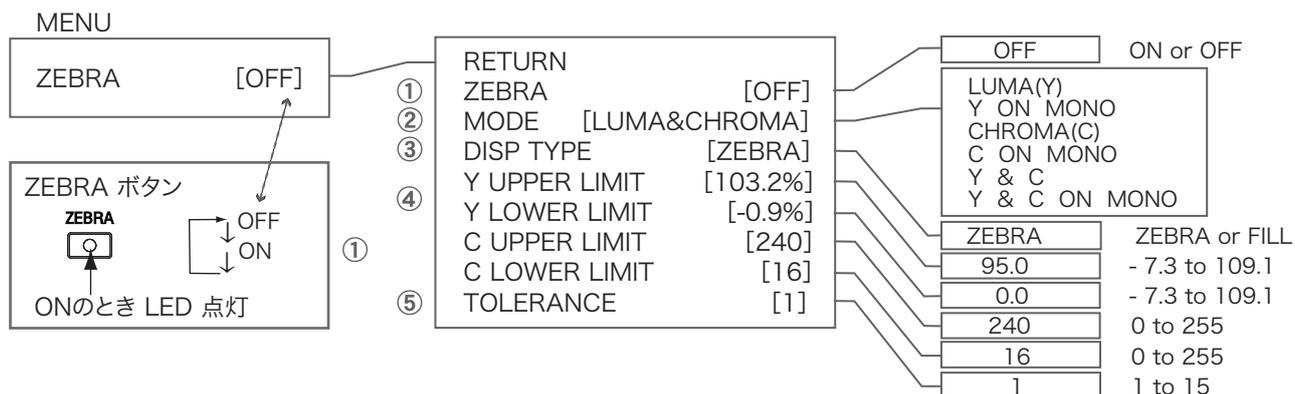
設定値のリセット : ユーザー設定値は、メニューRESET TO MFG DEFAULTで工場出荷時の設定値にリセットできます。



6 ユーザーファンクションの設定

メニューでユーザー設定をします。フロントパネルのZEBRA, MARKER, UTIL, TC TALLY ボタンを押して USERモードに切り替えると、それぞれユーザー設定された設定値が機能します。

6-1 Zebra ゼブラ

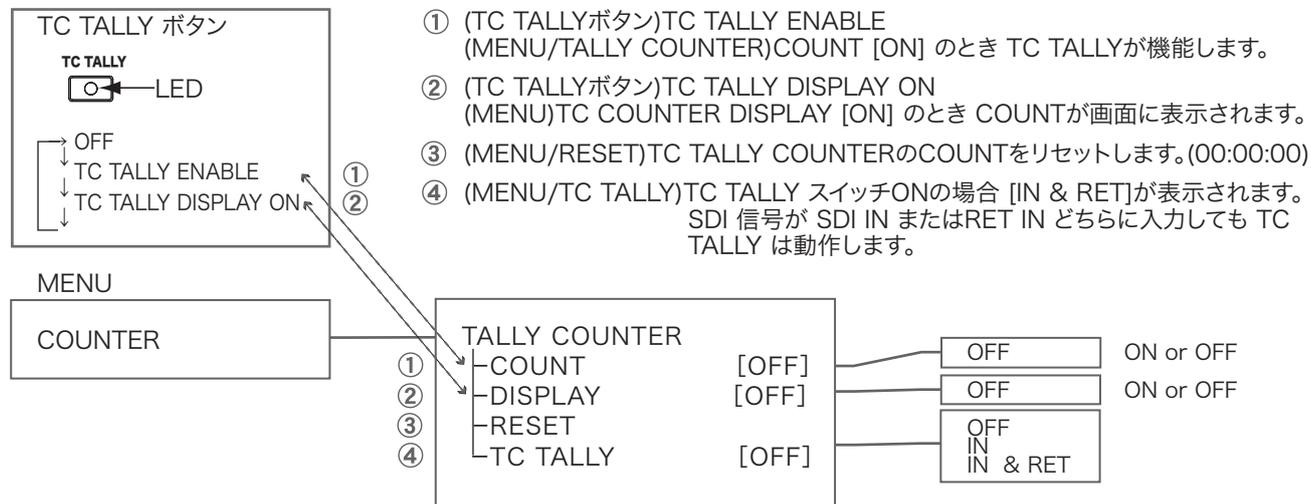


- ① ZEBRA [ON] : ZEBRA [ON]のとき(またはZEBRAボタンを押すと)、LED が点灯してゼブラが表示されます。
- ② MODE [LUMA or CHROMA] : ゼブラ表示のモードを選択します。
- ③ DISP TYPE [ZEBRA or FILL] : ゼブラ表示のタイプ, ZEBRA"ゼブラ"または FILL"ベタ" を選択します。
- ④ Y UPPER LIMIT/ LOWER LIMIT and C UPPER LIMIT/ LOWER LIMIT : ゼブラ表示をする境界値を設定します。
- ⑤ TOLERANCE [1] : ゼブラを表示するLIMIT値からのY値またはC値の幅のめやす。

(例:Y UPPER LIMIT =[90%], TOLERANCE=[10]の設定の場合、ゼブラは約Y=90~95%の範囲で表示されます。TOLERANCE の値 1~10 がゼブラを表示する範囲(幅)の目安になっています。)

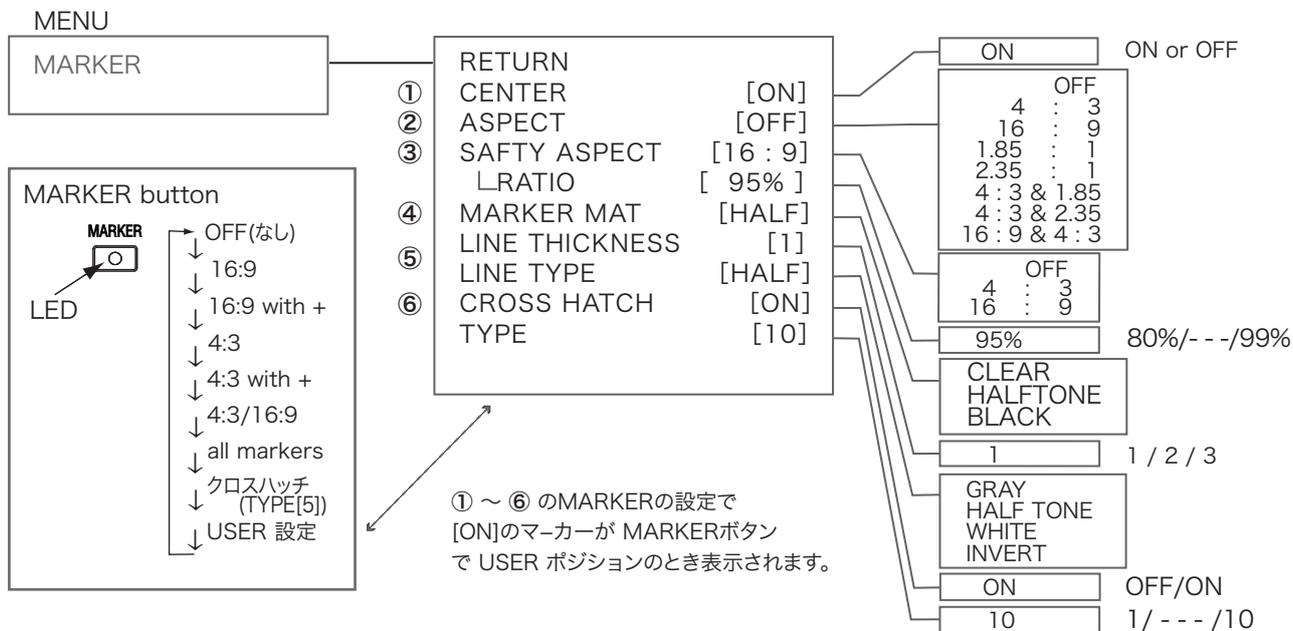
6-2 TC TALLY TCタリー

TC TALLY : TCタリーは、TC信号がエンベッドされたカメラのSDI 映像信号によりタリーを点灯するもので、カメラのTC機能で、レックランのとき、レコーダーの REC がスタートして "録画中" であることをタリー表示する"RECタリー"機能です。(※TC TALLY は日本ビデオシステムの登録商標です。)



6-3-1 Marker マーカー

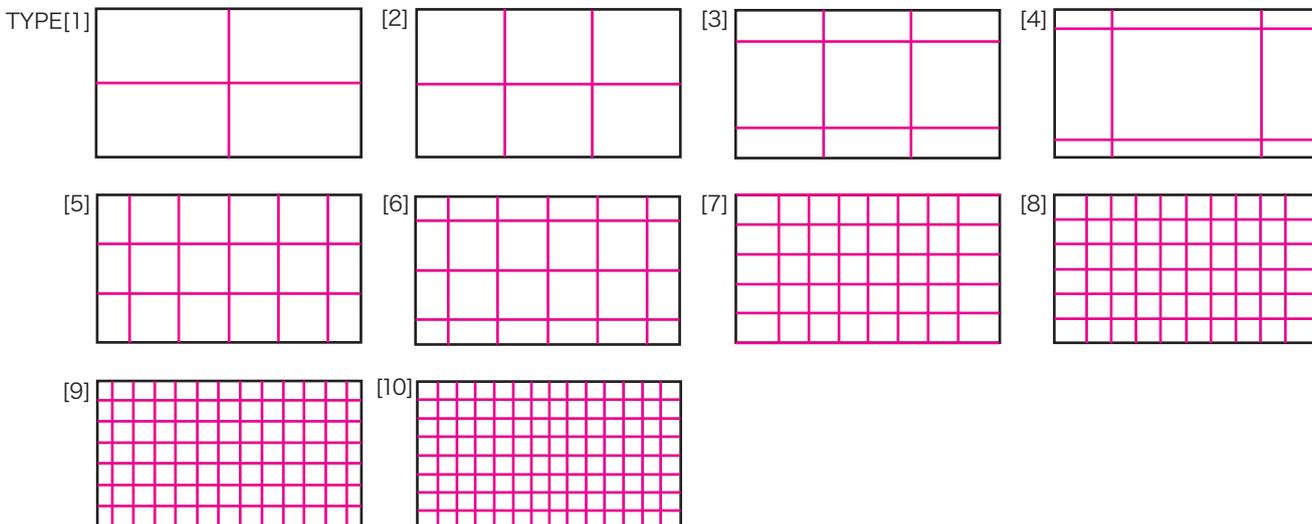
MENUのMARKERの設定 ① ~ ⑥ で [ON]のマーカーが MARKERボタンで USER ポジションのとき表示されます。



① ~ ⑥ のMARKERの設定で [ON]のマーカーが MARKERボタンで USER ポジションのとき表示されます。

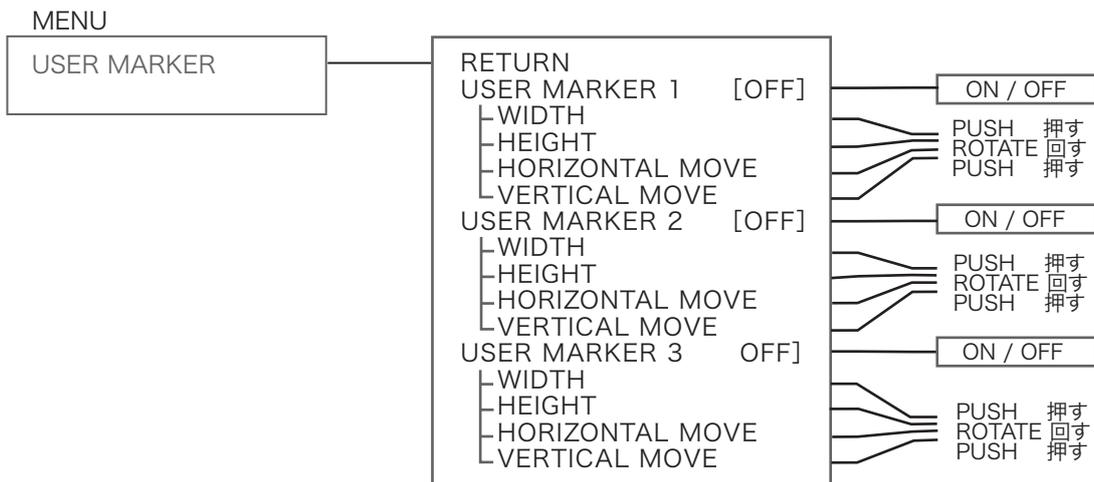
- ① CENTER [ON] : センターマーカー(+)の ON/OFFを設定します。
- ② ASPECT [OFF/ アスペクト比] : マーカー表示、そのアスペクト比を設定します。
- ③ SAFETY ASPECT [OFF/アスペクト比] : セーフティマーカー表示ON/OFF、そのアスペクト比を設定します。
SAFETY ASPECT RATIO [95%] : マーカー表示のセーフティサイズを設定します。80% ~ 99%の範囲で設定できます。
- ④ MARKER MAT [CLEAR/HALF TONE/BLACK] : マーカーマットの表示を設定します。
- ⑤ MARKER LINE THICKNESS [1/2/3] / LINE TYPE [GRAY/HALF TONE/WHITE/INVERT] : マーカーの線幅、色を設定します。
- ⑥ CROSS HATCH [ON] / TYPE[10] : クロスハッチの表示,サイズを設定します。

CROSS HATCH クロスハッチのTYPE(サイズ)

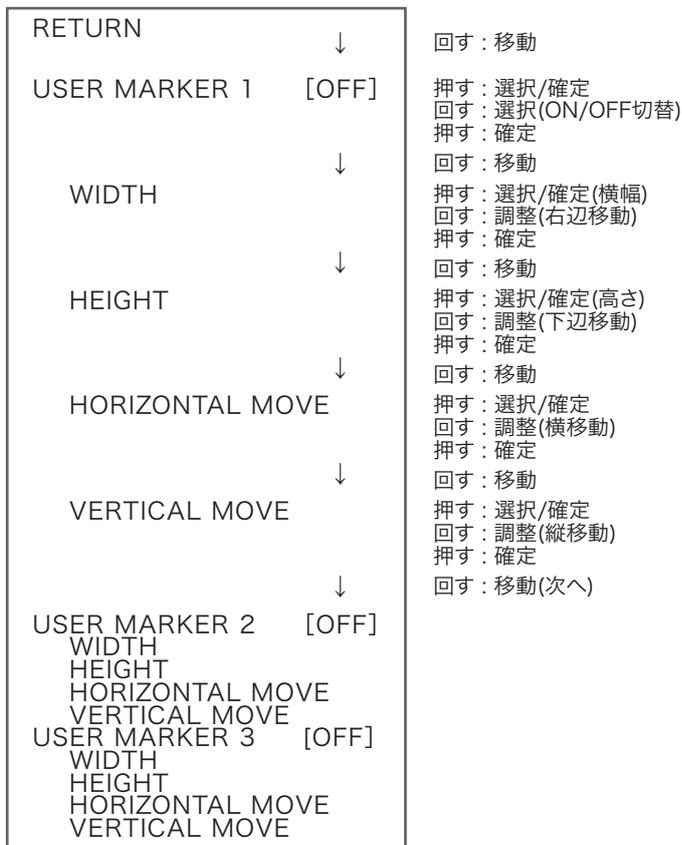


6-3-2 User Marker ユーザーマーカー

USER MARKER -WIDTH/HEIGHT/HORIZONTAL MOVE/VERTICAL MOVE : (マーカーの幅,高さ,横移動,縦移動)
 マーカーのサイズ、位置を自由に設定できます。
 ファンクションボタンASSIGNに"USER MARKER"を割り当て設定したユーザーマーカーを呼び出して表示します。



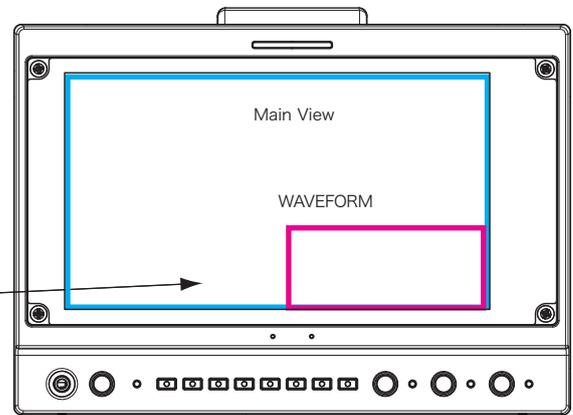
USER MARKER 設定方法



7 UTIL ユーティリティ(測定器機能)

UTIL (Utility ユーティリティ)機能の
USERポジションで表示させる
オーディオ、ウェーブフォーム、ベクトルスコープ
の設定をそれぞれメニューで行います。

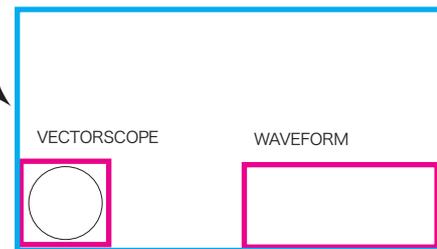
ウェーブフォーム



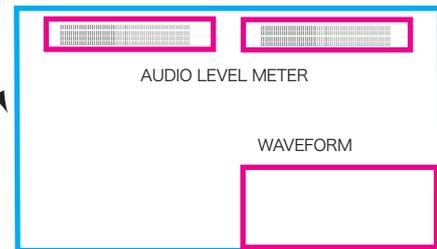
UTILITY ボタン LED

off	
+WAVEFORM	+ウェーブフォーム
+WAVEFORM +VECTORSCOPE	+ウェーブフォーム +ベクトルスコープ
+WAVEFORM +AUDIO 8CH	+ウェーブフォーム +レベルメーター8CH
+WAVEFORM +VECTORSCOPE +AUDIO 8CH	+ウェーブフォーム +ベクトルスコープ +レベルメーター8CH
WAVEFORM (full screen)	ウェーブフォーム (全画面)
VECTORSCOPE (full screen)	ベクトルスコープ (全画面)
WAVEFORM VECTORSCOPE AUDIO 16CH (full screen)	ウェーブフォーム ベクトルスコープ レベルメーター16CH (全画面)
Main View WAVEFORM VECTORSCOPE HISTOGRAM AUDIO 8CH AUDIO PEAK LOG AUDIO PHASE	ウェーブフォーム ベクトルスコープ ヒストグラム レベルメーター8CH オーディオピークログ オーディオフェーズ (全機能)
USER setting	ユーザー設定 ※

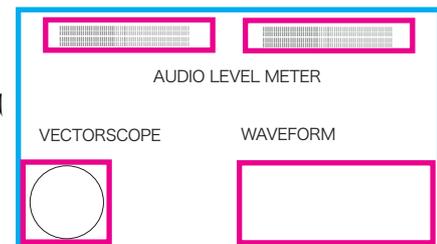
ウェーブフォーム+ベクトルスコープ



ウェーブフォーム+レベルメーター8CH

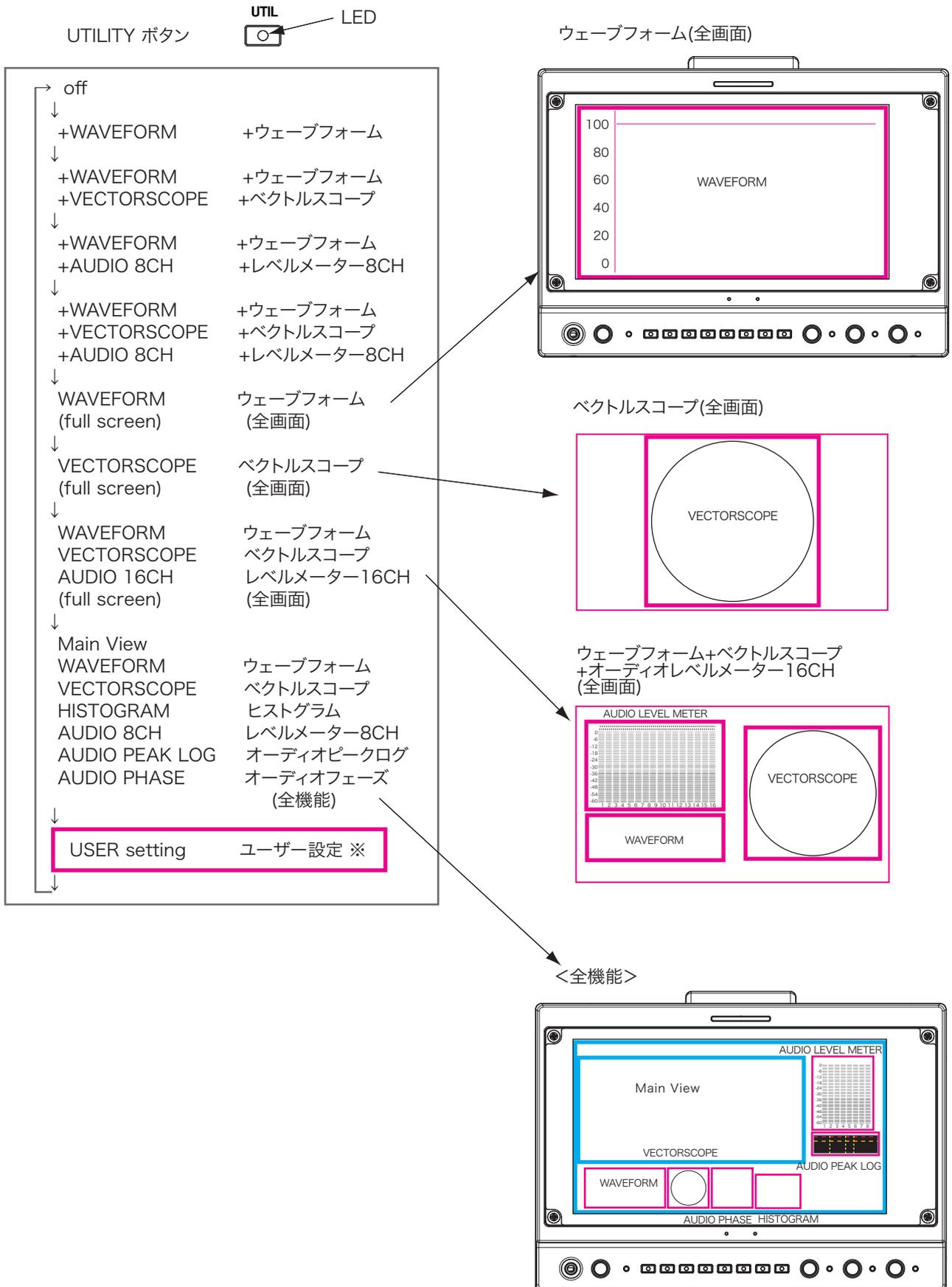


ウェーブフォーム+ベクトルスコープ
+レベルメーター8CH



※ USER ユーザー設定 では、
メニューで ON/設定された機能が表示されます。

メニューの操作 - ユーザー設定 の方法



8 UTILITY - USER ユーティリティ(測定器機能)のユーザー設定

USER UTILITY(測定器機能)のユーザー設定

任意の機能の表示をそれぞれ設定することができます。

WAVEFORM/HSG ウェーブフォーム/ ヒストグラム	WAVEFORM HISTOGRAM	[ON] [OFF]
VECTORSCOPE ベクトルスコープ	VECTORSCOPE	[ON]
AUDIO UTIL オーディオ ユーティリティ	LEVEL METER AUDIO PEAK LOG AUDIO PHASE MON	[ON] [OFF] [OFF]

[default setting] デフォルト設定値

ユーザー設定

8-1 ウェーブフォーム/ヒストグラムの設定

ウェーブフォーム/ヒストグラム

WAVEFORM/HSG [ON]

①	RETURN LAYOUT	[NORMAL]
②	WAVEFORM	[OFF]
③	SIZE	[MEDIUM]
④	POSITION	[RIGHT BOT]
⑤	DISP TYPE	[OVERLAY]
⑥	Y OVER LIMIT	[90.0%]
	Y UNDER LIMIT	[0.0%]
⑦	LINE MODE	[NORMAL]
⑧	VERTICAL LINE	[0]
⑨	HISTOGRAM	[OFF]
⑩	└ POSITION	[RIGHT BOT]

NORMAL WFM WAV VS ALM16 QUAD
OFF Y WFM YCbCr WFM GBR WFM
SMALL MEDIUM LARGE
LEFT TOP LEFT BOT RIGHT TOP RIGHT BOT
OVERLAY / OVERLAP
-7.3/-----/109.1
-7.3/-----/109.1
NORMAL/LINE MODE
LINE SELECTION
OFF Y ONLY RGB OVERLAY RGB PARADE
LEFT TOP LEFT BOT RIGHT TOP RIGHT BOT

- ① LAYOUT [NORMAL] : UTIL/USERでの表示の内容を設定します。
- ② WAVEFORM [Y WFM] : ウェーブフォームの表示のON/OFFおよび表示の形式を設定します。
- ③ SIZE [MADIUM] : ウェーブフォームの表示のサイズを設定します。
- ④ POSITION [RIGHT BOTTOM] : 表示する画面上の位置を設定します。
- ⑤ DISP TYPE [OVERLAY] : ウェーブフォームの表示タイプを設定します。
OVERLAY=半透明 / OVERLAP=不透明
- ⑥ Y OVER LIMIT [90%] : ウェーブフォームの Y信号のオーバー表示の境界値を設定します。
Y UNDER LIMIT [0%] : ウェーブフォームの Y信号のアンダー表示の境界値を設定します。
- ⑦ LINE MODE [NORMAL] : ウェーブフォームの表示モードを設定します。
NORMAL=通常/LINE MODE=ラインモード
- ⑧ VERTICAL LINE [0] : ウェーブフォームラインモードで表示するラインを設定します。
0 = 画面最上段のライン
- ⑨ HISTOGRAM [OFF] : ヒストグラムの表示のON/OFFおよび表示の形式を設定します。
Y ONLY=Y信号/
RGB OVERLAY=RGB各信号の重ね合わせ/RGB PARADE=RGB各信号のパレード
- ⑩ POSITION [RIGHT BOT] : 表示する画面上の位置を設定します。

8-2 ベクトルスコープの設定

ベクトルスコープ

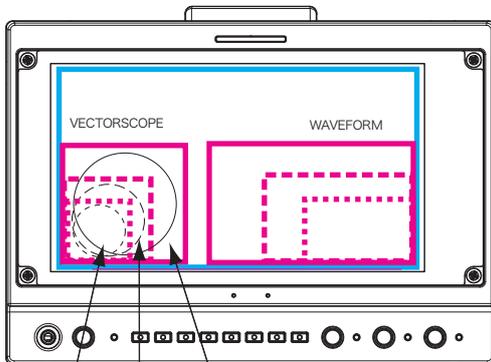
VECTORSCOPE [ON]

- ① LAYOUT [NORMAL]
- ② VECTORSCOPE [OFF]
- ③ SIZE [MEDIUM]
- ④ POSITION [LEFT BOT]
- ⑤ DISP TYPE [OVERLAY]
- ⑥ GAIN [$\times 1.00$]

- NORMAL
WFM
WAV
VS
ALM16
QUAD
- ON / OFF
- SMALL
MEDIUM
LARGE
- LEFT TOP
LEFT BOT
RIGHT TOP
RIGHT BOT
- OVERLAY / OVERLAP
- $\times 1.00$ / - - - - / $\times 4.98$

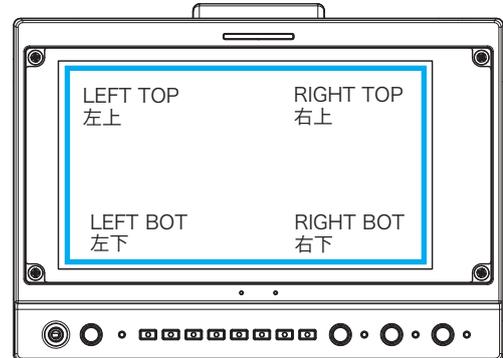
- ① LAYOUT [NORMAL] : UTIL/USERでの表示の内容を設定します。
 NORMAL=各ユーティリティ通常位置に表示
 WFM =ウェーブフォーム(画面全体)
 WAV =WFM+VS+ALM(8CH)(画面全体)
 VS =ベクトルスコープ(画面全体)
 ALM16 =オーディオレベルメーター(16CH)+ヒストグラム
 QUAD =映像画面+全ユーティリティ
- ② VECTORSCOPE [ON] : ベクトルスコープの表示のON/OFFを設定します。
- ③ SIZE [MADIUM] : ベクトルスコープの表示のサイズを設定します。
- ④ POSITION [LEFT BOTTOM] : 表示の画面上の位置を設定します。
- ⑤ DISP TYPE [OVERLAY] : ベクトルスコープの表示タイプを設定します。
 OVERLAY=半透明 / OVERLAP=不透明
- ⑥ GAIN [$\times 1.00$ to $\times 4.98$] : ベクトルスコープの表示のゲインを設定します。

<SIZE>

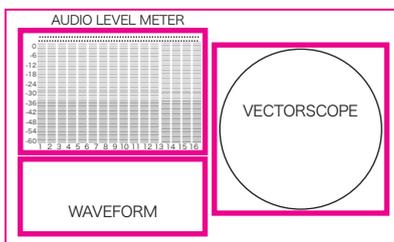


SMALL MADIUM LARGE
小 中 大

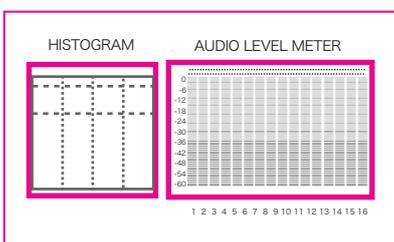
<POSITION>



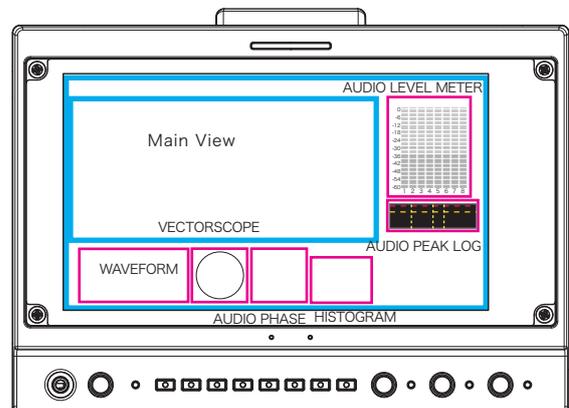
<WAV>



<ALM16>



<QUAD>

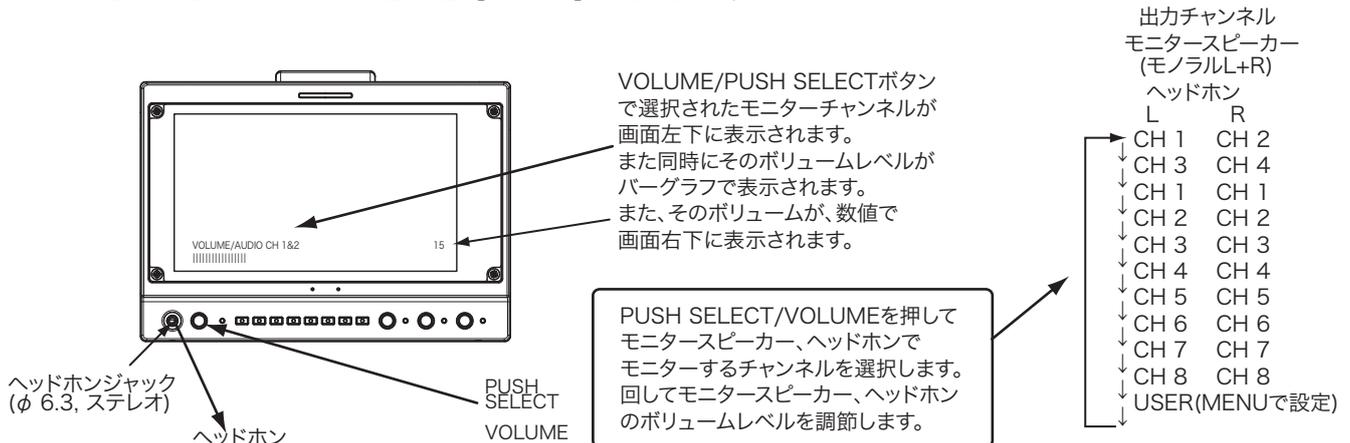


オーディオの設定・調整

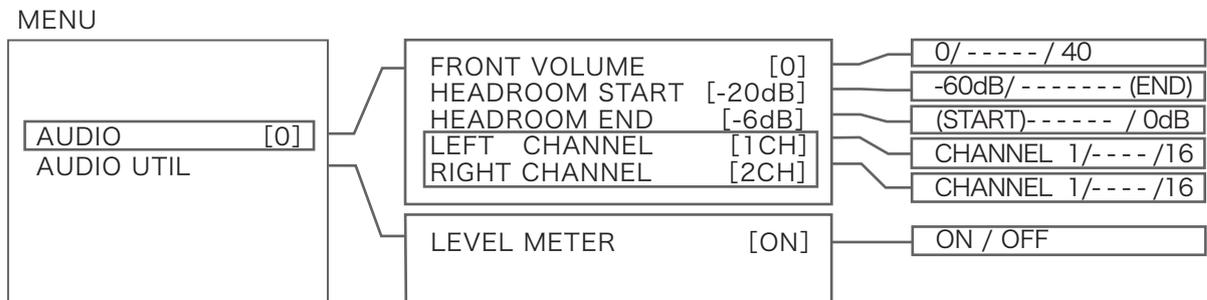
8-3 オーディオの設定・調整

8-3-1 オーディオモニターチャンネルの選択・音量調節

モニタースピーカーまたはヘッドホンでモニターするオーディオ出力はフロントパネル VOLUME/PUSH SELECT ツマミを押して順次切り替えて選択します。
 モニターのボリューム調整は、VOLUME/PUSH SELECT ツマミを回して行います。
 またはメニュー “FRONT VOLUME [0 ~ 40]” でもできます。



エンベデッドオーディオ全16CHのうち9~16CHの音声モニターは、フロントパネル PUSH SELECT/VOLUMEボタン USERポジションへ、メニュー/AUDIO/ "LEFT CHANNEL [1CH]/RIGHT CHANNEL [2CH]"から必要なCHをプリセットしておくともモニターできます。
 エンベデッドオーディオ16CHのオーディオレベルメーターが、画面に表示できます。

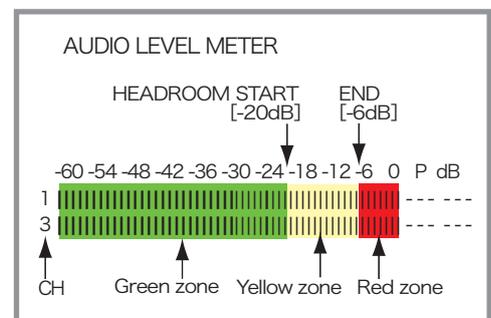


8-3-2 オーディオレベルメーターAUDIO LEVEL METER

エンベデッドオーディオは、UTIL ボタンでオーディオレベルメーターを画面に表示してモニターすることができます。

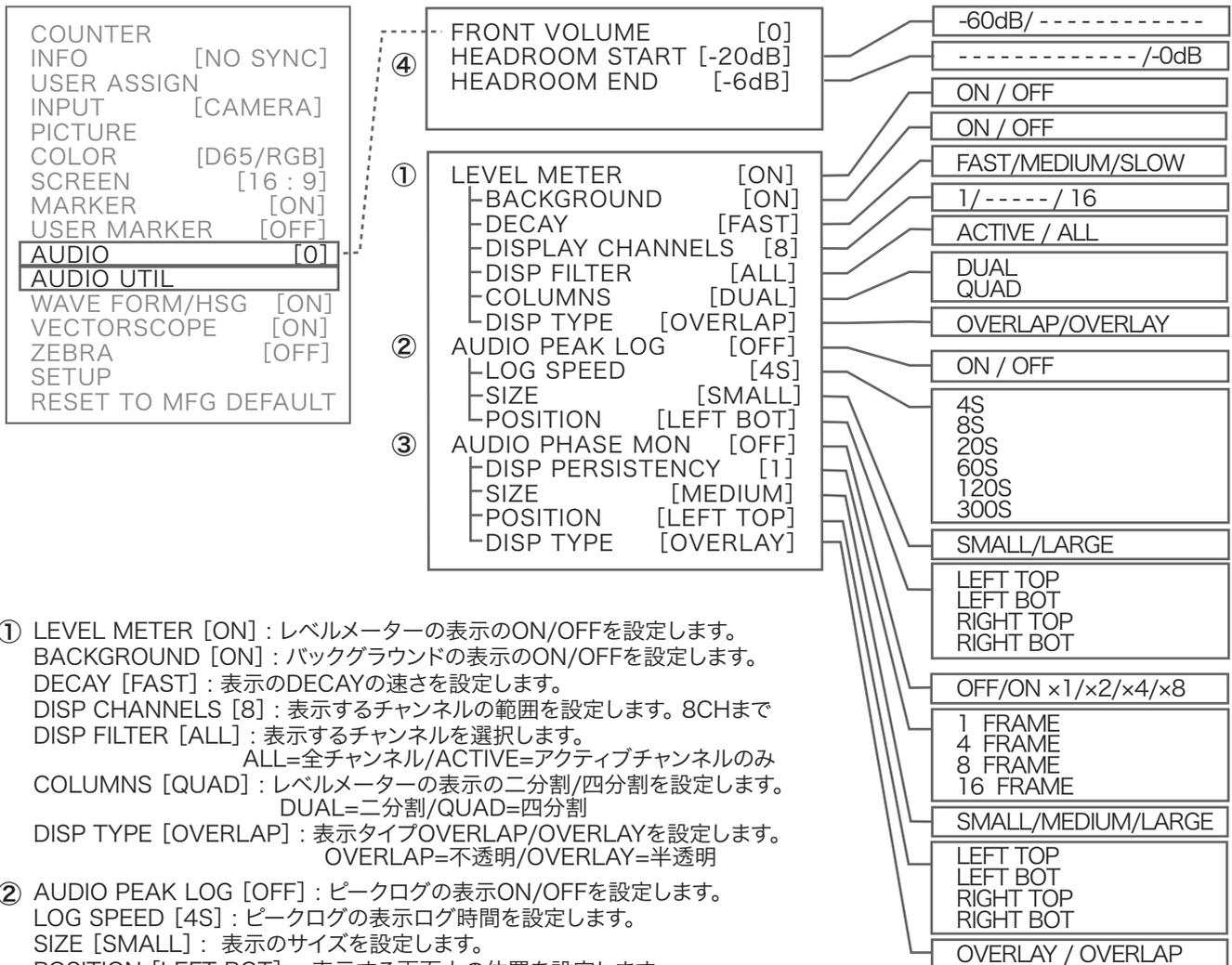
UTIL ボタン (UTILITY の選択)

- ↓ WAVEFORM
- ↓ WAVEFORM+VECTORSCOPE
- ↓ WAVEFORM+AUDIO 8CH
- ↓ WAVEFORM+VECTORSCOPE+AUDIO 8CH
- ↓ (WFM)WAVEFORM(全画面)
- ↓ (VS)VECTORSCOPE(全画面)
- ↓ (WAV)WAVEFORM+VECTORSCOPE+AUDIO 16CH(全画面)
- ↓ (QUAD)Multi View : 映像+全ユーティリティ
- ↓ USER setting : LAYOUT=NORMAL/WFM/WAV/VS/ALM16/QUAD
- ↓ OFF (LED off)

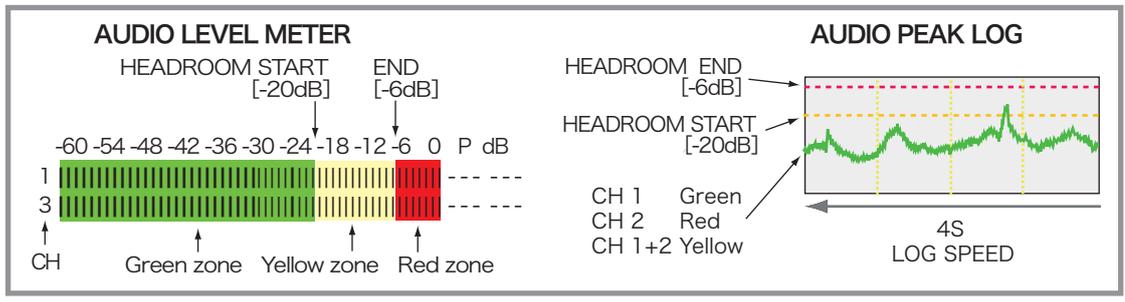


オーディオレベルメーター/ピークログのヘッドルーム(HEADROOM)の境界の値は、メニューのAUDIOで設定します。
 HEADROOM START [-20dB]
 HEADROOM END [-6dB]

8-3-3 オーディオユーティリティの設定

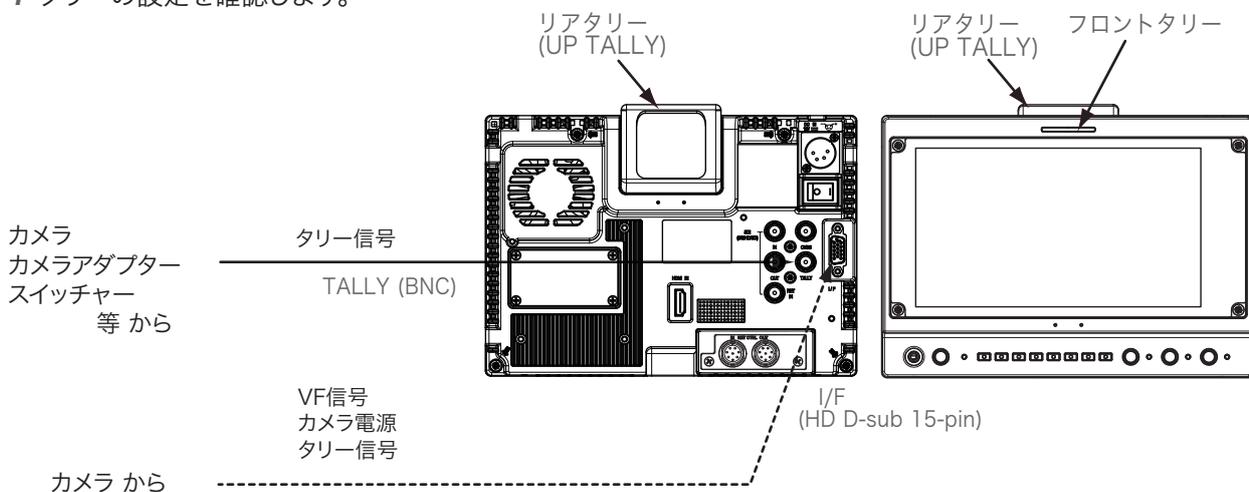


- ① LEVEL METER [ON] : レベルメーターの表示のON/OFFを設定します。
 BACKGROUND [ON] : バックグラウンドの表示のON/OFFを設定します。
 DECAY [FAST] : 表示のDECAYの速さを設定します。
 DISP CHANNELS [8] : 表示するチャンネルの範囲を設定します。8CHまで
 DISP FILTER [ALL] : 表示するチャンネルを選択します。
 ALL=全チャンネル/ACTIVE=アクティブチャンネルのみ
 COLUMNS [QUAD] : レベルメーターの表示の二分割/四分割を設定します。
 DUAL=二分割/QUAD=四分割
 DISP TYPE [OVERLAP] : 表示タイプOVERLAP/OVERLAYを設定します。
 OVERLAP=不透明/OVERLAY=半透明
- ② AUDIO PEAK LOG [OFF] : ピークログの表示ON/OFFを設定します。
 LOG SPEED [4S] : ピークログの表示ログ時間を設定します。
 SIZE [SMALL] : 表示のサイズを設定します。
 POSITION [LEFT BOT] : 表示する画面上の位置を設定します。
- ③ AUDIO PHASE MON [OFF] : オーディオフェーズモニターの表示のON/OFFを設定します。
 DISP PERSISTENCY DECAY [1] : 表示の持続時間を設定します。
 SIZE [MEDIUM] : 表示のサイズを設定します。
 POSITION [LEFT TOP] : 表示する画面上の位置を設定します。
 DISP TYPE [OVERLAY] : 表示タイプOVERLAY/OVERLAPを設定します。
- ④ HEADROOM START [-20dB] : オーディオレベルメーターおよびピークログのヘッドルームの境界(HEADROOM START/HEADROOM END)を設定します。
 HEADROOM END [-6dB]



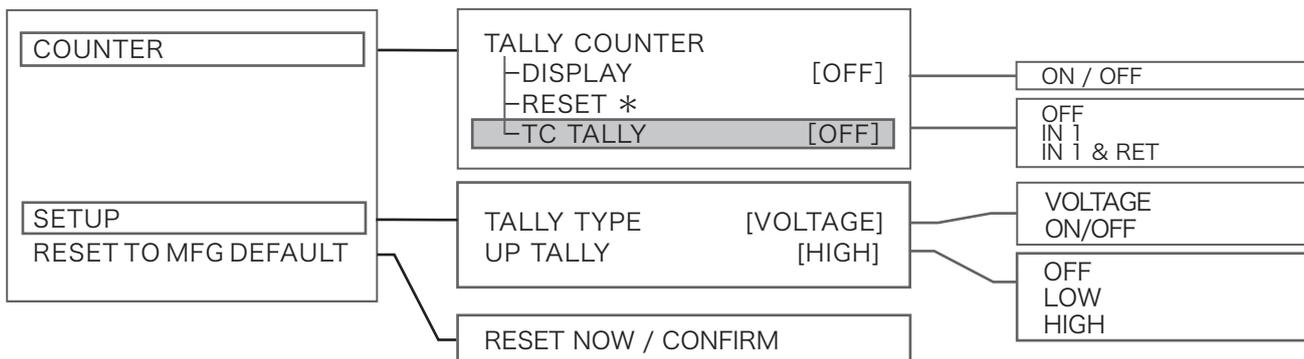
タリーの設定

9-1 タリーの設定を確認します。



MENU

* MENU/COUNTER/TALLY COUNTER で カウントをリセットします。



9-1-2 MENU/SETUPで TALLY TYPE=入力信号の選択 の設定を確認します。

VOLTAGE= 入力信号が電圧信号 : 5.0-4.3V =赤 / 3.7-2.3V =緑 / 1.7-0V =(OFF)消灯
ON/OFF= 入力信号が接点 short/open : short =(ON)赤 / open =(OFF)消灯

※ I/F 接続・入力の場合は、この設定に関係なく表示します。

9-1-3 MENU/SETUPで UP TALLY=(上部)リアタリーの明るさ を設定します。

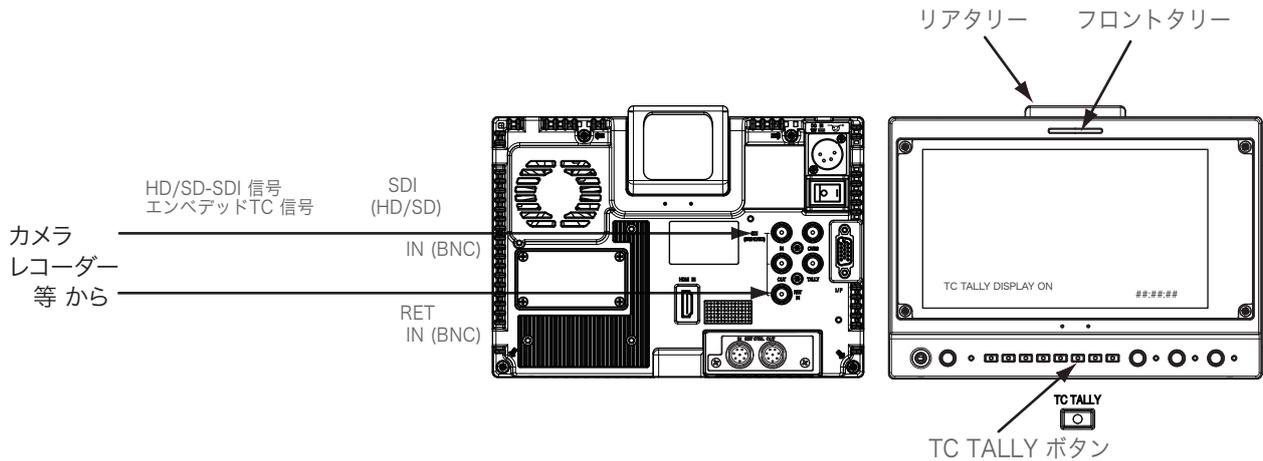
HIGH=明, LOW=減光, OFF=消灯

9-1-4 信号入力によりフロントタリー(赤,緑)、リアタリー(赤)が正しく点灯することを確認します。

9-2 TCタリーを使用する場合

TCタリーは、REC RUN (REC状態)によりTCカウントがアップするときタリー表示が点灯します。(RECタリー)

9-2-1 タリーの設定を確認します。

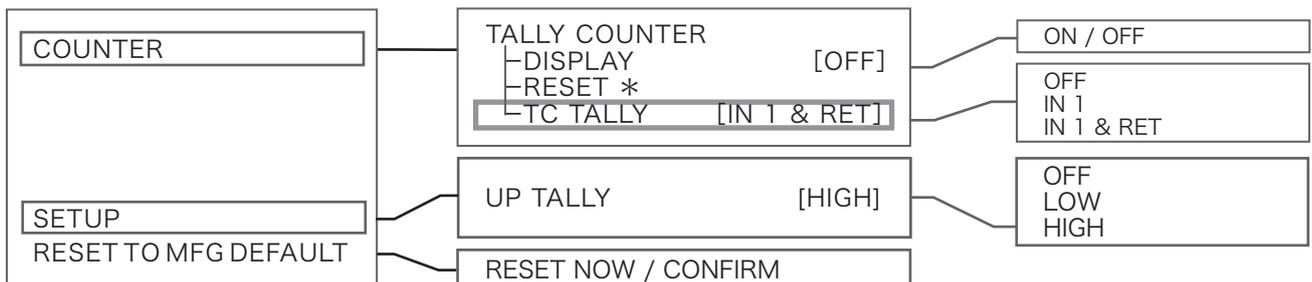


フロントパネル TC TALLY ボタンを押すと、TC TALLY が ON/OFF します。



※ TC TALLY ボタンを押して TALLY が ONのときメニューの表示は、COUNTER/TALLY COUNTER/TC TALLY [IN 1 & RET] となります。

* MENU/COUNTER/TALLY COUNTER で カウントをリセットします。



9-2-2 MENU/SETUPで UP TALLY=上部リアタリーの明るさ を設定できます。

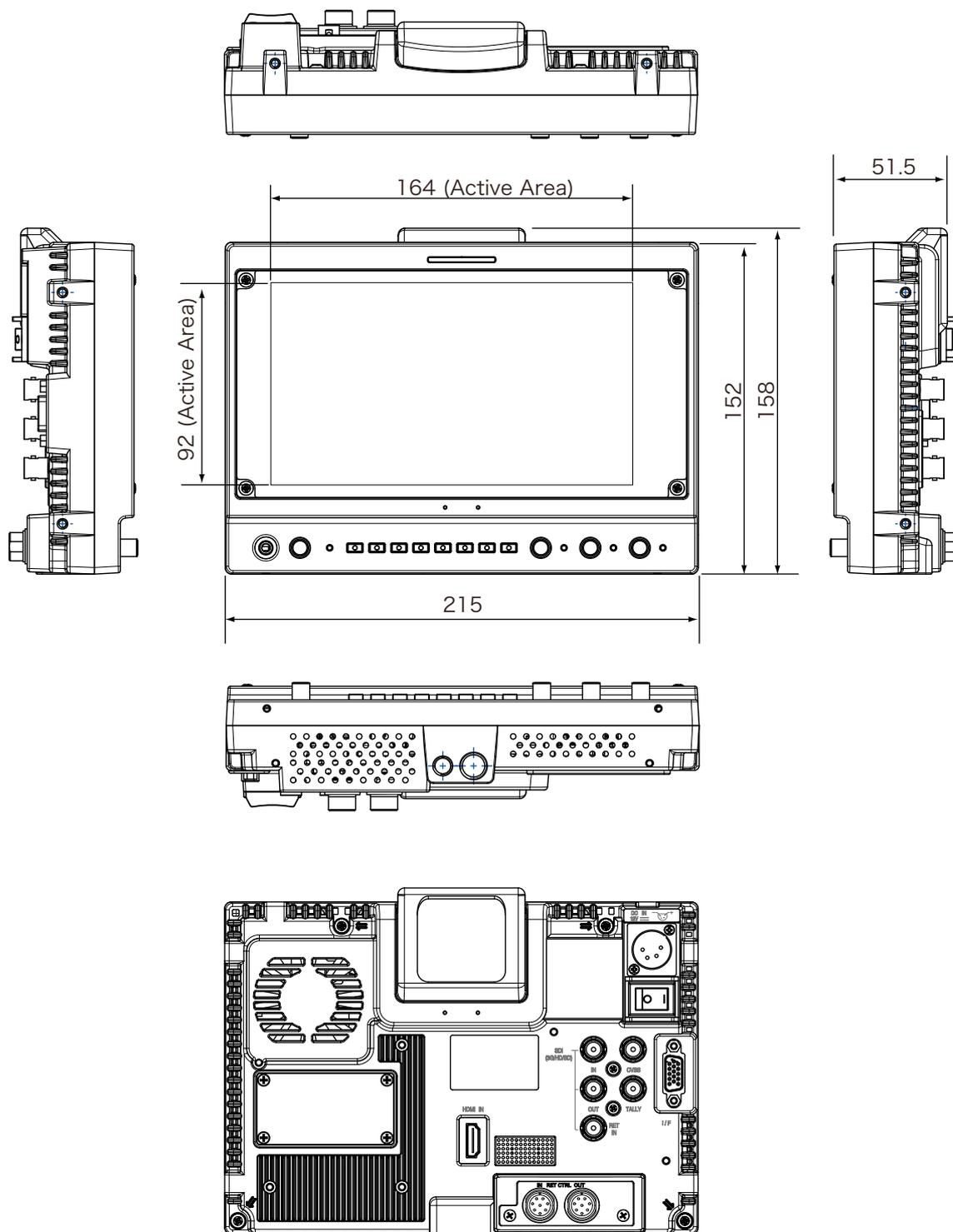
HIGH=明, LOW=減光, OFF=消灯

9-2-3 信号入力によりフロントタリー(赤)、リアタリー(赤)が正しく点灯することを確認します。

Outside View & Dimensions 外形寸法図

HD ビューファインダー HDF-EL800

HDF-EL800 外形寸法図



Outside dimension (unit: mm)
外形寸法図(単位:ミリ)

Specifications 仕様

HD ビューファインダー HDF-EL800

HDF-EL800 仕様

OLED Panel		有機ELパネル ※	
Panel type	パネルタイプ	OLED	
Panel size	パネルサイズ	7.4 inches diagonal	
Size of display area	画面サイズ	164(H) x 92(V) mm	
Panel aspect ratio	アスペクト比	16 : 9	
Picture Resolution	解像度	960(H) x 540(V) Effective Pixels	
Viewing Angle	視野角	170° 以上(H), 170°以上 (V)	
Color reproduction	色再現性	10 bit	
Input			
DC IN 12 V (CAMERA) I/F V-shoe(optional)	DC 電源入力 カメラインターフェース Vシュー(オプション)	1x XLR 4-pin (male) 1x D-sub 15-pin 1x V-Mount Battery Interface	DC 12V カメラから電源供給可 Vマウントバッテリーインターフェース
SDI(3G/HD/SD)	SDI 入力	1x BNC	3G/HD/SD
SDI(3G/HD/SD) RET IN (CAMERA) I/F	SDI リターン入力 カメラインターフェース	1x BNC 1x D-sub 15-pin	3G/HD/SD アナログコンポーネント入力(Y/Pb/Pr), 電源入力, タリー信号入力
CVBS	コンポジット入力	1x BNC	コンポジット VBS
HDMI IN	HDMI入力	1x HDMI	3G/HD/SD
RET CTRL IN	リターンコントロール信号入力	1x 8-pin	
TALLY IN	タリー信号入力	1x BNC	TALLY IN : 電圧入力/ON-OFF入力 切替
Tally			
Tally Indicator	タリー表示	1x Front(緑/赤), 1x Rear(赤, OFF/LOW/HIGH 設定可能)	
Output			
SDI(HD/SD)	SDI 出力	1x BNC	HD/SD SDI ループスルー出力
Headphone	オーディオモニター出力	1x φ 3.5 Stereo Mini Jack	
Audio Monitor Speaker	モニタースピーカー	1x モノラルスピーカー 内蔵	
RET CTRL OUT	リターンコントロール信号出力	1x 8-pin	
General			
Weight	質量	約 1.25 kg (main body)	
Dimensions (WxHxD)	外形寸法	約 215 x 158 x 51.5 mm (main body)	
Power requirement	DC 電源	12 V DC (10 V - 16 V)	
Power consumption	消費電力	約 20 W	
Operating Temperature	動作温度(推奨温度)	0 °C ~ 40 °C (20 °C ~ 30 °C)	
Operating Humidity	動作湿度	30 % ~ 85 %	
Storage Temperature	保存温度	-10 °C ~ 40 °C (結露のないこと)	
Storage Humidity	保存湿度	0 % ~ 90 %	
Video Input signal			
Video Format		1080p/60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98 (SDI/Component/HDMI) 1080 i /60/59.94/50 (SDI/Component/HDMI) 720p/60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98(SDI/Component/HDMI) 480 i /60/59.94, 575 i /50(SDI/Component/HDMI/Composite) 480p/60/59.94, 576p/50(Component/HDMI)	

※ OLEDパネルの品質について：本モニター搭載のOLEDパネルは、非常に精度の高い技術で製造されているため、99.99%以上の有効画素が得られますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますのであらかじめご了承ください。

※ OLEDパネルは、OLEDパネルの性質上、静止画を表示し続けると焼き付きをおこす場合がありますのでご注意ください。

NOTE デザイン、仕様は、予告なく変更することがあります。

PROTECH®

HDF-EL800

Operating Instructions